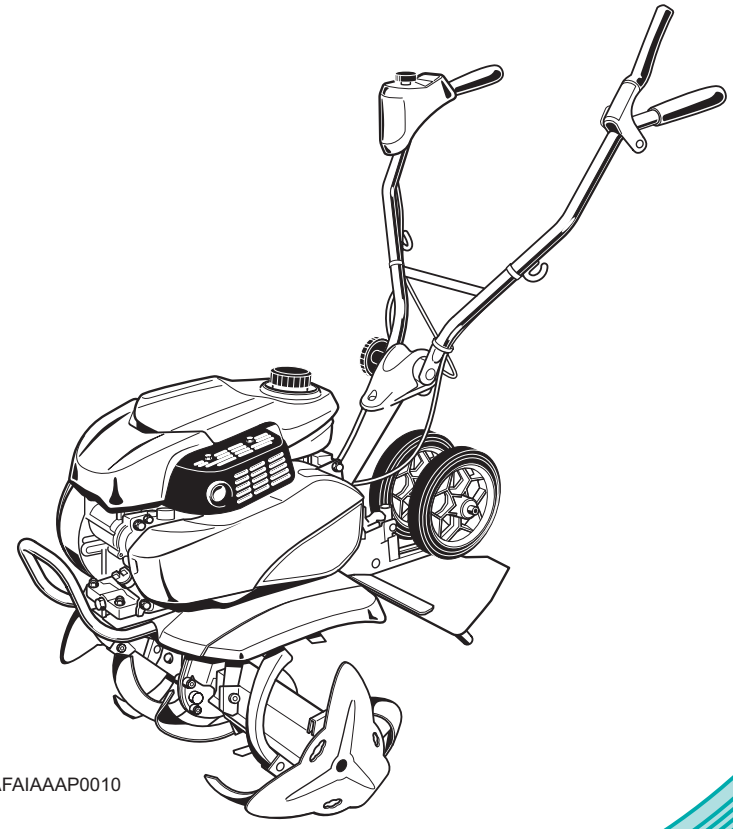
クボタ管理機

取扱説明書

TMS 30



1AFAIAAAP0010

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

操作装置のシンボルマーク

運転操作及び保守管理のために，操作装置のシンボルマークが使用されています。シンボルマークの意味は下記のとおりですのでよく理解して戴き誤操作のないようご注意ください。

エンジン停止

チョークレバー

ガソリン燃料

専門用語の説明

ON 燃料コック［開］

OFF 燃料コック［閉］

本製品の使用目的について

本製品は，農業用機械ですので農作業以外では使用しないでください。
使用目的以外の作業，また夜間作業や改造はしないでください。
使用目的以外の作業や改造をした場合は，保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳細は保証書をご覧ください。）

仕様について

この取扱説明書では，仕様の異なる製品を下記のように表示していますので，お買上げの製品の仕様をお確かめのうえ，お間違いのないようお願いいたします。
なお，機種及び仕様区分によっては付いていない装置の説明もあります。

- 操向クラッチレバー付……S仕様
- 一体型楽ラク耕うんロータ付…M5仕様
- 分割型楽ラク耕うんロータ付…M6仕様
- ミラクルロータ付……N仕様
- 抵抗棒付……T仕様
- 簡単うね立てマット付……U仕様
- 移動用双尾輪付……E3仕様

はじめに

このたびはクボタ製品をお買上げいただきありがとうございました。
この取扱説明書は本製品の正しい取扱い方法，簡単な点検及び手入れについて説明しています。ご使用前によくお読みいただいて十分理解され，お買上げの製品がすぐれた性能を発揮し，かつ安全で快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。
また，お読みになったあとも製品に近接して保存し，わからないことがあったときには取出してお読みください。なお，品質・性能向上あるいは安全上，使用部品の変更を行なうことがあります。その際には，お買上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので，あらかじめご了承ください。

⚠安　全　第　一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた⚠の表示があるラベルは，人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。
なお，⚠表示ラベルが汚損したり，はがれた場合はお買上げの販売店に注文し，必ず所定の位置に貼ってください。

注意表示について

本取扱説明書では，特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について，次のように表示しています。

⚠ 危　険	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警　告	注意事項を守らないと，死亡又は重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注　意	注意事項を守らないと，ケガを負うおそれのあるものを示します。
重　要	注意事項を守らないと，機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。
補　足	その他，使用上役立つ補足説明を示します。

目　次

⚠安全に作業するために

運転する前に.....1
始動するとき.....3
移動，作業するとき.....4
作業が終わったとき.....9
点検，整備をするとき.....9
表示ラベルと貼付け位置.....11
表示ラベルの手入れ.....11

サービスと保証について

各部の名称と装置の取扱い

作業前の点検

調子よく作業するために.....4
　燃料.....4
　エンジンオイル.....4
　ミッションオイル.....4
　エアクリーナ.....5
　各ケーブル.....5
　その他.....5
安全に作業するために.....5
　主クラッチ.....5
　操向クラッチレバー［S 仕様］.....5
　電気配線.....5
　エンジン周辺部.....5
　ガソリンもれ.....5

運転のしかた

新車時の扱いかた.....6
　ならし運転（最初の 10 時間まで）.....6
エンジンの始動と停止のしかた.....6
　始動のしかた.....6
　停止のしかた.....7
発進のしかた.....8

作業のしかた

上手な作業のしかた.....9
　作業前の準備.....9
　耕うん作業手順.....9
各部の調節.....10
　ハンドル高さの調節.....10
　ハンドルの左右回動.....10
　簡単うね立てマットのセットのしかた
　　［U 仕様］.....11
　培土機の取付けかた.....11
　移動用双尾輪のセットのしかた［E3 仕様］.12
　抵抗棒のセットのしかた［T 仕様除く］...13
ワンタッチ移動輪での運転のしかた
［Y3 仕様］.....13
操向クラッチレバー［S 仕様］.....13
　旋回のしかた.....13
ロータ・ワンタッチ移動輪の取付けかた 14
　楽ラク耕うんロータの取付けかた
　　［M5，M6 仕様］.....14
　マジカルプレートの装着方法.....15
　ミラクルロータの取付けかた［N 仕様］..15
　耕うん爪の取付けかた.....16
　ワンタッチ移動輪の取付けかた［Y3 仕様］17

管理機の簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について.....18
日常の手入れ.....18
　エンジンオイルの交換.....18
　ミッションオイルの交換.....18
　エアクリーナエレメントの清掃.....19
　燃料パイプの交換.....20
　燃料フィルタの清掃.....20
　ファンカバーの清掃.....20
　点火プラグの調節・清掃・交換.....21
　主クラッチケーブルの調節.....22
　操向クラッチケーブルの調節［S 仕様］..22
使用後の手入れ.....22
　エンジン始動不良を防ぐために.....23
　長期格納時の手入れ.....23
　燃料の抜取り.....23
洗車時の注意.....24

管理機を運搬するとき

トラックへの積込み，運搬.....25
乗用車への積込み，運搬.....26
ハンドルの折り畳みかた.....26

付表

主要諸元.....27
標準付属部品.....27
主な消耗部品一覧表.....28

トラブルと処置

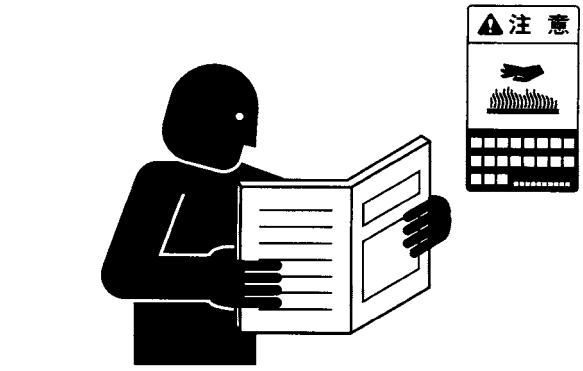
⚠ 安全に作業するために　　必ず読んでください

本機をご使用になる前に，必ずこの『取扱説明書』をよく読み理解した上で，安全な作業をしてください。安全に作業をしていただくため，ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが，これ以外にも，本文の中で⚠危 険・⚠警 告・⚠注 意・重 要・補 足としてそのつど取上げています。

運転する前に

■ 運転前に

- 機械を動かす前に，取扱説明書と機械に貼ってある⚠表示ラベルをよく読み，理解した上で運転してください。
- 機械の運転操作，特に主クラッチ**【切】**はすばやくできるよう，よく練習し，じゅうぶんに慣れてから作業してください。

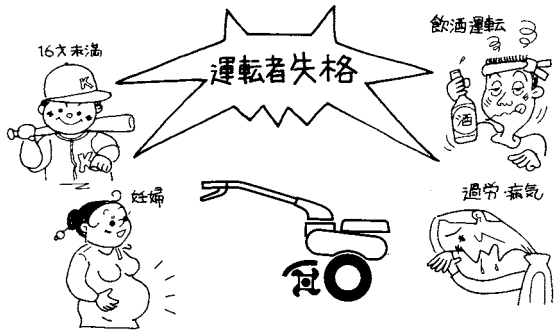


1AGAAAPAP062A

■ 使用する人は

機械の運転操作，特に主クラッチ**【切】**はすばやくできるよう，よく練習し，じゅうぶんに慣れてから作業してください。
次の項目に該当する場合は，機械を使用しないでください。

- 本書及びラベルの内容が理解できない人
- 視力不足等のため表示内容が読めない人
- 飲酒時や体調が悪いとき，また妊娠中の人
- 16 才未満の人
- ハンドルを操縦する体力に自信のない方

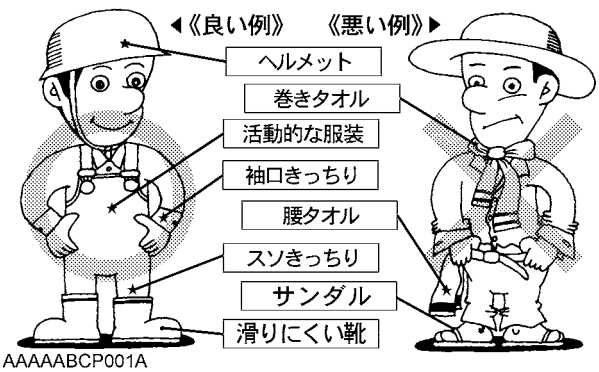


1AFACAAAP024A

■ 使用する人の服装は

- 回転部分や操縦装置に引っ掛かり事故の原因になる，だぶついた服，腰タオルなどはやめてください。
- ヘルメット，安全靴，保護メガネや手袋などを必要により着用してください。

作業時の服装



1AAAAABCP001A

■ 周囲への注意

- 子供，ペットを近づけないでください。
- 見物人を近くに寄せないでください。
- 共同作業者がいるときは，互いに注意してください。

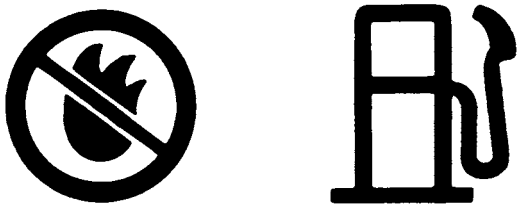
■ 他人に貸すときは

- 事前に運転のしかたを教え，**[取扱説明書]** を必ず読んでもらってください。
- 本書及びラベルの内容が理解できない人や子供には絶対運転させないでください。

1AHACACAP001A

■ 給油・注油するとき［火気厳禁］

- 燃料の給油・各部への注油時は必ずエンジンを停止し，規定量以上入れないでください。
- エンジン回転中やエンジンが熱い間は火災のおそれがあるので給油はしないでください。
- 煙草を吸ったり火気を近づけないでください。
- 給油口の赤色ゲージ以上に燃料を入れないでください。
- 燃料補給後，給油キャップはもれないようしっかり締めてください。
- こぼれた燃料はふき取ってください。

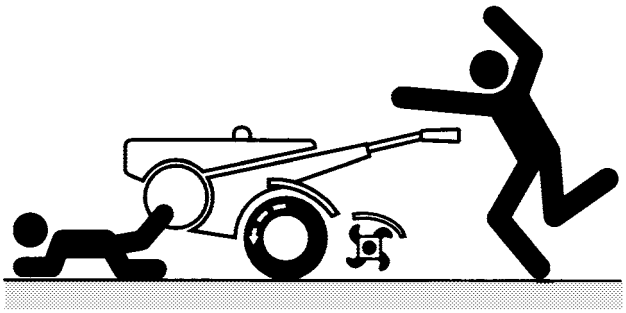


1AFACAAAP025A

始動するとき

■ エンジンを回すとき

- 必ず本機の主クラッチレバーを**[切]**にして，付近に人（特に子供）を近づけないでください。
- もし主クラッチが入っていると車体や爪軸が急に動いて事故になるおそれがあります。
- リコイルスタータを引っ張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。



1AFACAAAP026A

■ 排気ガスに注意

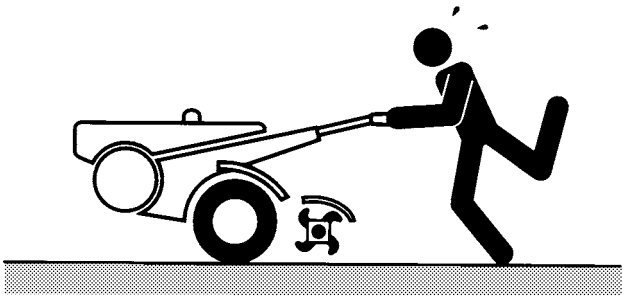
- 排気ガスにより一酸化炭素中毒のおそれがあるので，換気の悪い所（ハウス，車庫等）では使用しないでください。
- ハウス内では排気ガスが充満しないように，じゅうぶんに換気を行なってください。
  排気ガスによる中毒を起こし，死亡事故にいたるおそれがあります。

1AFACAAAP027A

移動，作業するとき

■ 発進するとき

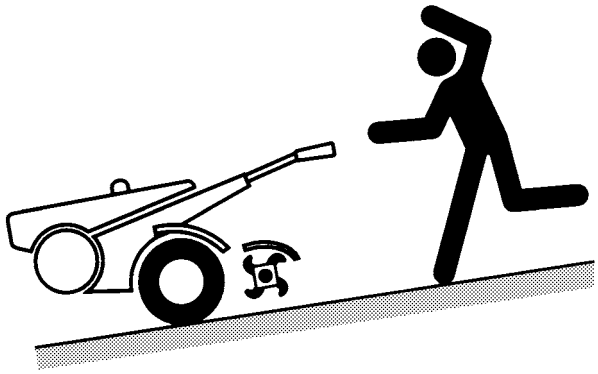
- 速い速度での走行は十分注意してください。
- 車速の最低速で主クラッチレバーの**［入］**はゆっくり，**［切］**はすばやくの操作を習熟した上で使用してください。
- 小走りになるようなスピードを出したり，急発進，急旋回はしないでください。転倒などのおそれがあります。



1AFACAAAP028A

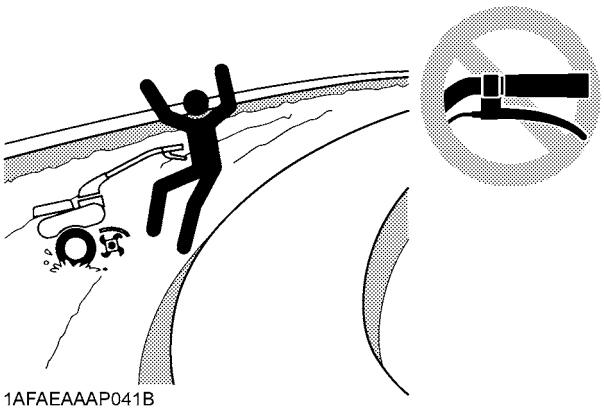
■ 坂道を移動するとき

- 坂道，ほ場の出入り，あぜの乗越えなどの途中で主クラッチを**［切］**ったりすると，機体が思わぬ方向に進み危険です。
- 坂道や凹凸，カーブの多い路上で高速運転すると，転倒したりして危険ですから必ず低速運転してください。



1AFACAAAP031A

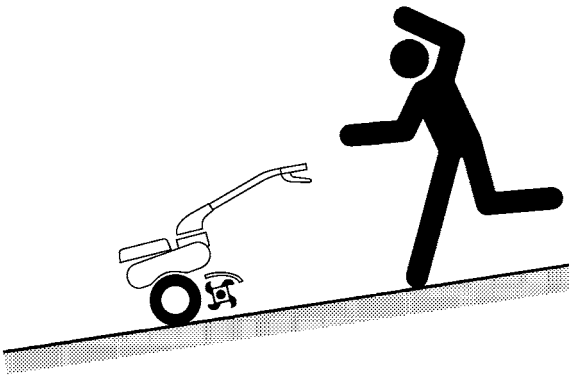
- 坂道で操向クラッチレバー**［S 仕様］**を操作すると，思わぬ方向に曲がり転倒のおそれがありますので，必ずハンドル操作で方向転換してください。



1AFAEAAAP041B

■ 傾斜地，あぜの移動

- 傾斜地で作業する場合は，転倒やスリップをしないようにバランスにじゅうぶん注意してください。
- あぜを横断するときは，いったん停止して，あぜと直角に走行してください。
- あぜの高さが爪軸の高さを越えるほ場の出入りでは特に，作業者ご自身が滑ったりしないように足場をじゅうぶん確認しながら移動してください。



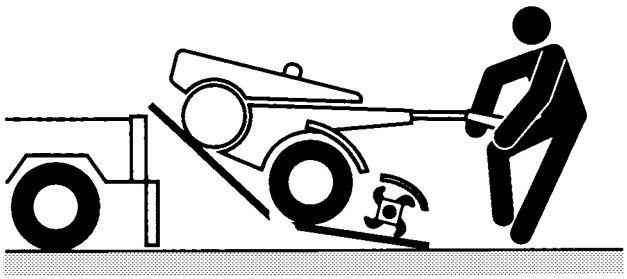
1AFAHAAAP031A

■ 積込み・積降ろしするとき

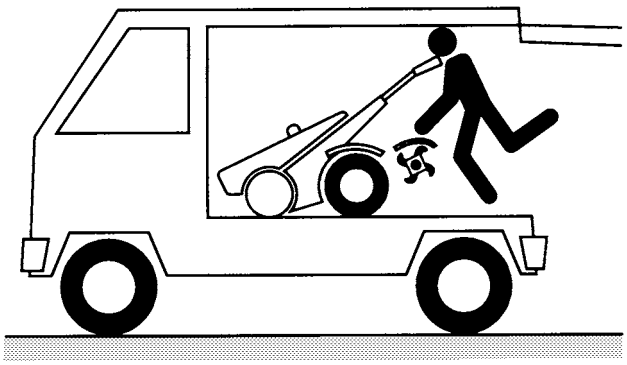
積込み・積降ろしは，平たんで交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。

[アユミ板を使用する場合]

- アユミ板はすべり止めのついた，機体重量に耐えるもので，トラックの荷台の高さ **[1]** に対しアユミ板の長さ **[4 以上]** のものを使用し，確実に固定してください。
- 積込み・積降ろし作業中は，機械の前には絶対に立たないでください。
- ロータを装着しているときは，移動輪，または突起の小さい車輪と交換して行なってください。ロータのみでの，アユミ板の上り・下りは危険です。絶対にしないでください。
- 上り，下りはエンジンを停止して，主クラッチレバー及び操向クラッチレバー **[S 仕様]** から手を離して行なってください。
- 車などで運搬するときは，荷台に天井がある車を使用すると天井に首や体をはさまれるおそれがありますので，必ず荷台に天井がない車を使用してください。



1AFACAAAP032A



1AFACAAAP033A

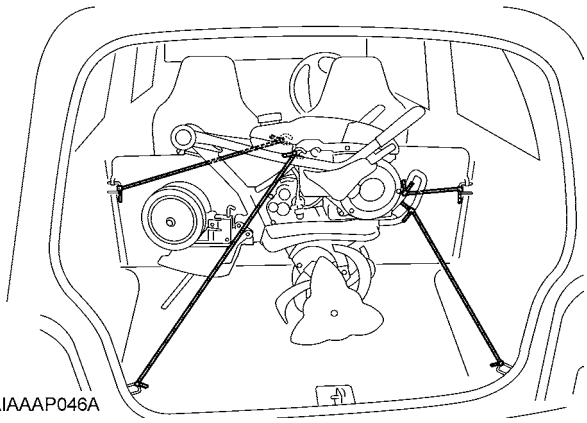
[手で持ち上げる場合]

- 積込み・積降ろしは２人以上で行なってください。
- 機械を持ち上げるときは、ハンドルの固定ノブが確実に締まっていることを確認し、ハンドル部が折り畳んでいる場合は、ハンドルパイプを持って上げてください。

■ 運搬するとき

- 運搬中は燃料コックレバーを必ず**［閉］**にし，給油キャップはもれないようしっかり締めてください。燃料もれが発生し，火災や爆発のおそれがあります。
- 機体の固定は前部プロテクタ，ロープ掛け用フックの２箇所を使ってロープ掛けを行ない，確実に床に固定してください。

■ 本機を乗用車に載せて運搬するとき


1AFAIAAAP046A

- 積込み・積降ろしは，平たんで交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。
- 自動車は駐車ブレーキをかけ，エンジンを停止し、変速を後進（バック）:MT 車，P（パーキング）:AT 車に入れ，タイヤに歯止をしてください。
- 積込み前には必ずハンドルを折り畳んでください。
- 積込み・積降ろしは２人以上で行なってください。
- 乗用車等の密閉空間になる状態で機械を運搬する場合は，燃料タンク内の燃料を完全に抜き取ってから積込んでください。
  燃料は，別に用意しておいた法で定められたタンクに移して運搬してください。火災のおそれがあります。
- 機械は自動車の床に安定した状態で積み，ロープで前部プロテクター・ロープ掛けフックを固定してください。

■ 耕うん作業するとき

1AFACAAAP029A

- いつでも主クラッチが**［切］**れる姿勢で運転してください。車軸（ロータ）作業開始時や作業中，機体が思わぬ方向に飛出し転倒や人身事故のおそれがあります。
- 作業前に，ほ場の状態をよく確認して，石・材木・針金・空カン・空ビンなどを取除いてください。
- 作業前，作業後には機械の整備・点検を行なってください。特にエンジン本体，マフラ周辺，配線部にワラくずなどがたまっていると，火災の原因になります。
- 周辺の枯れ草やたい積ワラなどは作業前に取除くか移動させてください。機械のマフラが接触すると，発火するおそれがあります。
- ほ場の中や周囲にある支柱，樹木や段差などは，作業前に位置を確認し，後方に機械を移動する時にはさまれたり，転倒・転落しないよう安全な距離を保って，近づかないよう作業してください。
- ハウスや小屋の中，果樹園など障害物がある場所では，周囲をよく確認しながら作業してください。特に旋回するときは，エンジン回転を下げ，ハンドルをしっかり押えて行なってください。
- 長いワラ・草など作業に支障のあるものは，作業前に取除いてください。機体が思わぬ方向に飛出し，転倒などのおそれがあります。

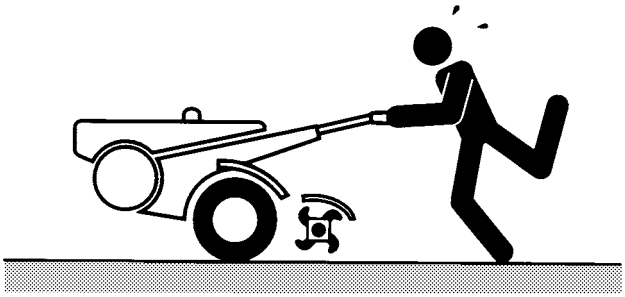
■ 回転している爪に注意

- ハンドル部を持上げ旋回するとき，足元及び周囲に十分注意しないと回転する爪に巻込まれるおそれがあります。

1AFACAAAP034A

■ ほ場が硬いとき

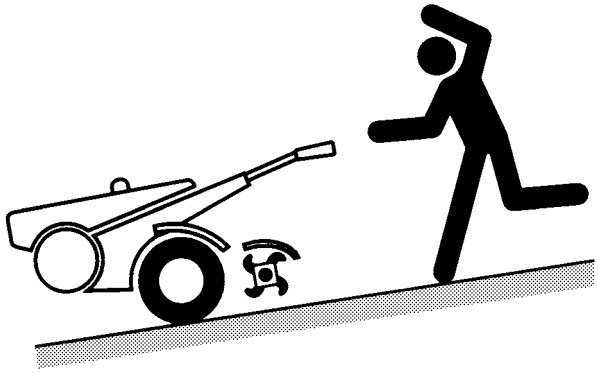
- 硬いほ場では車速を遅めにして，耕深も浅めで作業を行なってください。機体が飛出すおそれがあります。



1AFACAAAP028A

■ 機械から離れるとき

- エンジンは必ず停止させ，平たんで安定した場所に停車してください。移動・落下するおそれがあります。
  (やむなく傾斜地に止めるときは車止めをしてください)
- 周囲に草・ワラなど燃えやすいものがある場所に止めないでください。火災のおそれがあります。

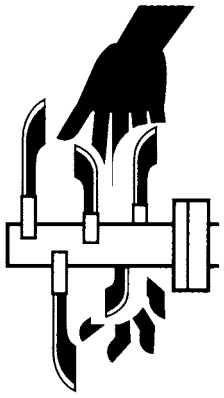


1AFACAAAP031A

作業が終わったとき

■ 掃除をするとき

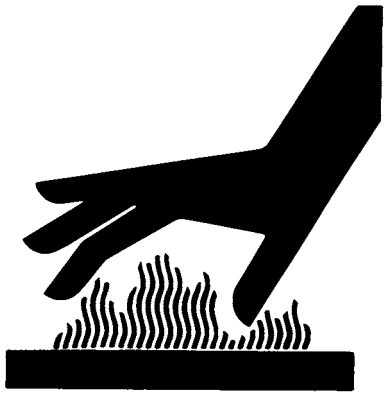
- 車軸（ロータ）などに巻付いた草・ワラ・泥土などを取除くときは，巻込まれるおそれがあるので，必ずエンジンを停止してください。



1AFACAAAP036A

点検，整備をするとき

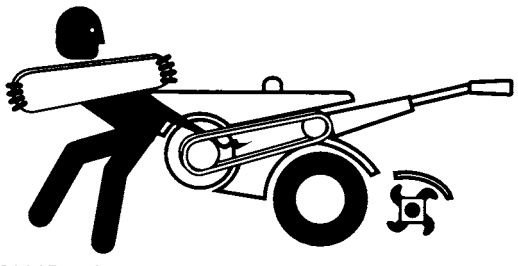
- 点検，整備，アタッチメントの脱着などは，機械が転倒しない平たんな所に機械を安定させて，エンジンを止め，高温部が冷めてから行なってください。



1AFACAAAP039A

■ カバー類は必ずつける

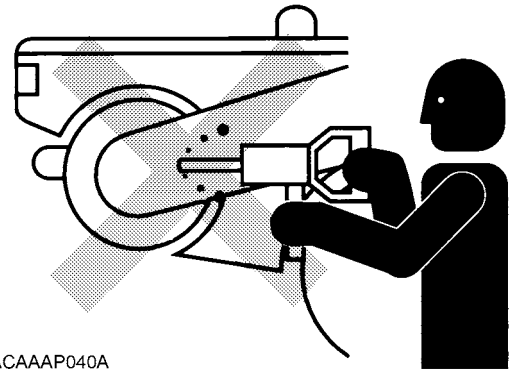
- ベルトカバー，フェンダーなどの防護カバーを取外すときは，巻込まれるおそれがあるので，必ずエンジンを停止してください。
- 取外したカバー類は元通り組付けてください。



1AFACAAAP037A

■ 機械の改造禁止

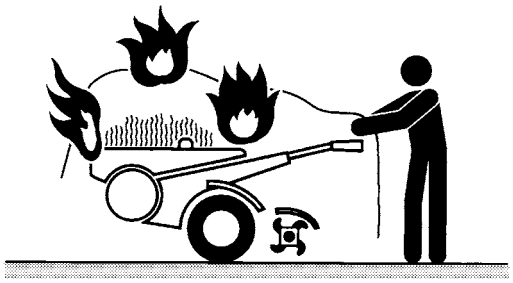
- 機械を改造しないでください。改造すると機能に影響を及ぼすばかりか人身事故にもつながるおそれがあります。



1AFACAAAP040A

■ 格納するとき

- 機体に保管用カバーをかけるときは，火災予防のため高温部が冷めてから行なってください。
- 乾いた草・ワラなど可燃物のあるところでの保管はしないでください。
  火災のおそれがあります。



1AFACAAAP076A

■ 廃棄物の処理について

- 廃棄物をみだりに捨てたり，焼却すると，環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
- 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
- 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
- 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者等に相談して，所定の規則に従って処理してください。

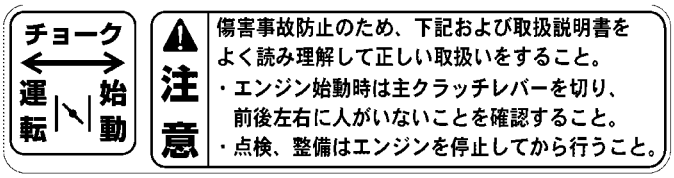
1BJABAAAP0180

■ 夜間作業の禁止について

- 本機は夜間作業灯を装備していませんので，夜間作業はしないでください。思わぬ事故になるおそれがあります。

表示ラベルと貼付け位置

(1) 品番　KA041−4715−0

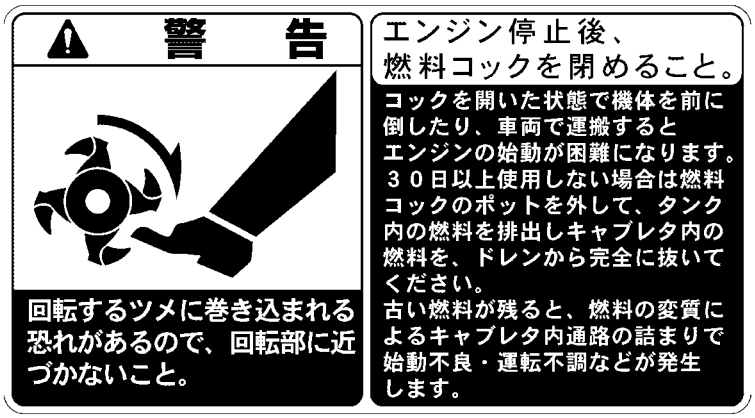


1AFAIAAAP002A

(2) 品番　KA011−4721−0

1AFAAAAAP2120

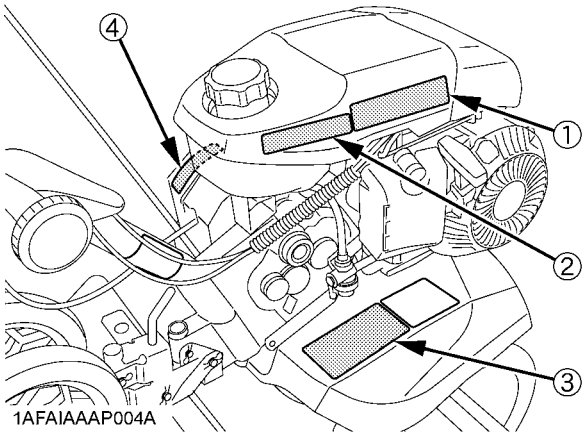
(3) 品番　KA041−4711−0



1AFAIAAAP003A

(4) 品番　LK161−4732−0

1AFAEADAP020A



1AFAIAAAP004A

1AFAIAAAP012A

表示ラベルの手入れ

- ラベルは，いつもきれいにして傷つけないようにしてください。
  もしラベルが汚れている場合は，石鹸水で洗い，やわらかい布でふいてください。
- 高圧洗浄機で洗車すると，高圧水によりラベルが剥がれるおそれがあります。高圧水を直接ラベルにかけないでください。
- 破損や紛失したラベルは，製品購入先に注文し，新しいラベルに貼替えてください。
- 新しいラベルを貼る場合は，貼付け面の汚れを完全にふき取り，乾いた後，元の位置に貼ってください。
- ラベルが貼付けされている部品を新部品と交換するときは，ラベルも同時に交換してください。

サービスと保証について

この製品には，保証書が添付してありますので，ご使用前によくご覧ください。

■ ご相談窓口

ご使用中の故障やご不審な点及びサービスについてのご用命は，お買上げいただいた購入先にそれぞれ**［ご相談窓口］**を設けておりますのでお気軽にご相談ください。

その際　(1) 型式名・販売型式名と車台番号
　　(2) エンジン番号
をあわせてご連絡ください。

なお，部品ご注文の際は，購入先に純正部品表を準備しておりますので，そちらでご相談ください。

警　告

＊ 機械を改造しないでください。改造すると機能に影響を及ぼすばかりか，人身事故にもつながるおそれがあります。
改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は，メーカ保証の対象外になるのでご注意ください。

◆ 認定番号

安全鑑定の農機型式名及び番号が必要な場合は，下記の型式名及び番号をご使用ください。

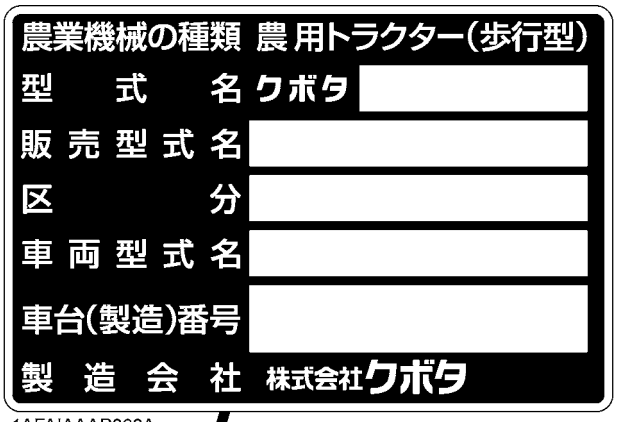
販売型式名	農機型式名	安全鑑定番号
TMS30 TMS30-S	TMS30	37070

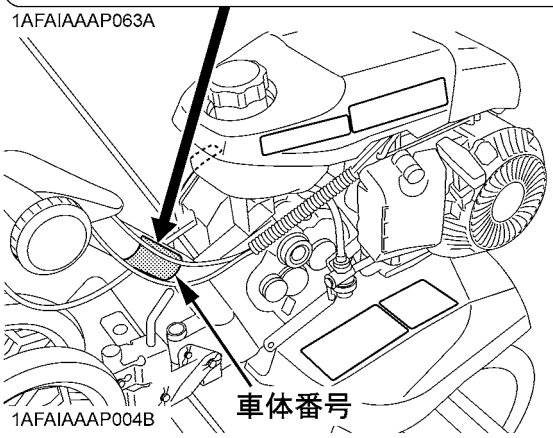
■ 補修用部品の供給年限について

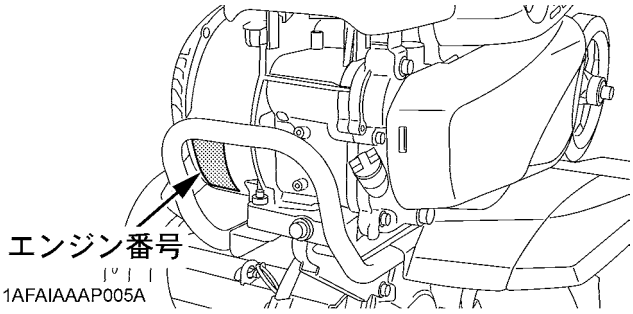
この製品の補修用部品の供給年限（期限）は製造打切り後 9 年といたします。

ただし，供給年限内であっても特殊部品につきましては，納期などについてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は原則的に上記の供給年限で終了致しますが，供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には，納期及び価格についてご相談させていただきます。







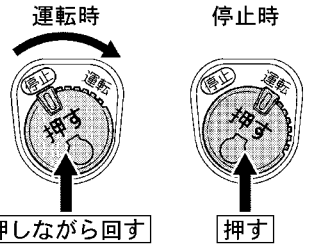
注　意

＊ 公道でのトレーラ走行はできません。
小型特殊自動車の認定を受けておりません。
公道を走行すると，道路運送車両法に違反します。
公道を移動するときは，自動車（トラック）に積んで運搬してください。

各部の名称と装置の取扱い

メインスイッチ

エンジンの運転・停止に用います。



1AFAAAAAP184E

スイッチを押しながら**[運転]**位置に回すと始動が可能です。

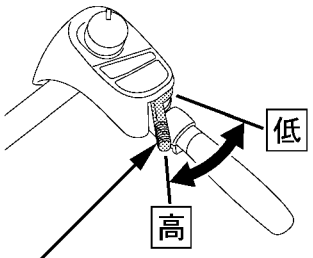
スイッチを押すと左に回り**[停止]**位置に戻り，エンジンが停止します。

補 足

＊非常時にはメインスイッチを押してください。エンジンが停止します。

スロットルレバー

レバーを**[高]**の方向に回すと，エンジン回転が上がり，**[低]**の方向に回すと，エンジン回転が下がります。



スロットルレバー

1AFAIAAAP011A

主クラッチレバー

注 意

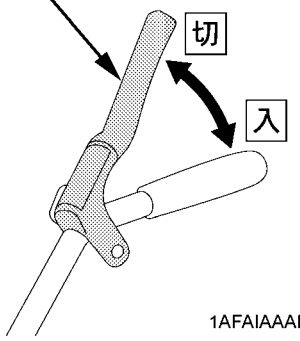
＊傾斜地／狭い場所で作業する場合，主クラッチレバーはゆっくり操作してください。

＊危険を感じたら，すぐに手を離してください。機械が停止します。

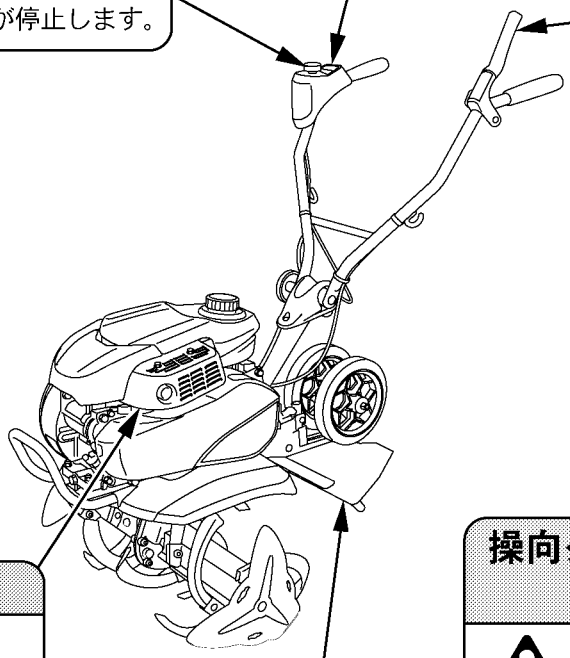
エンジンから車軸への動力を断続します。

1. レバーを握るとクラッチが**[入]**り車軸が回転します。
2. レバーを離すとクラッチが**[切]**れ回転が止まります。

主クラッチレバー



1AFAIAAAP038A



マフラ

注 意

＊マフラに手を触れないでください。ヤケドをするおそれがあります。

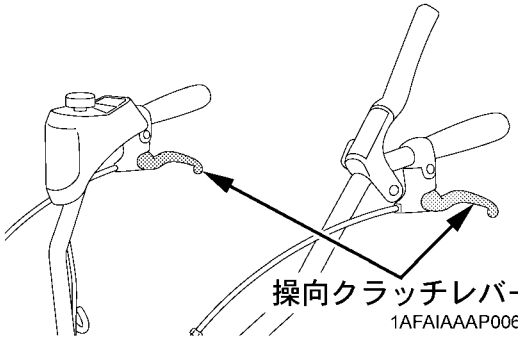
1AFAIAAAP0380
1AFAIAAAP013A

操向クラッチレバー（左・右）［S仕様］

注 意

＊車両への積降ろし時や坂道では，絶対に操作しないでください。

- 右側のレバーを握る…右側に旋回します。
- 左側のレバーを握る…左側に旋回します。



1AFAIAAAP006G

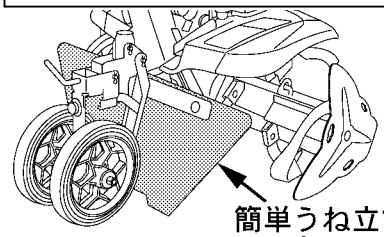
簡単うね立てマット［U仕様］

簡単うね立てマットを**[簡単うね立てマットセット位置]**に切換えることにより，うね立て作業をすることができます。

[簡単うね立てマットのセットのしかた]

11 ページを参照

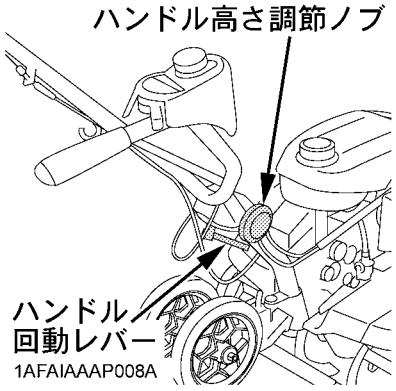
簡単うね立てマットセット位置



1AFAIAAAP007A

ハンドル高さ調節ノブ ハンドル回動レバー

[ハンドル高さの調節]・[ハンドルの左右回動]10ページを参照

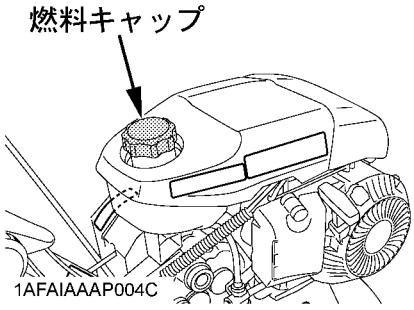


燃料キャップ

自動車用レギュラーガソリンを使用します。(規定容量 0.8L)

補 足

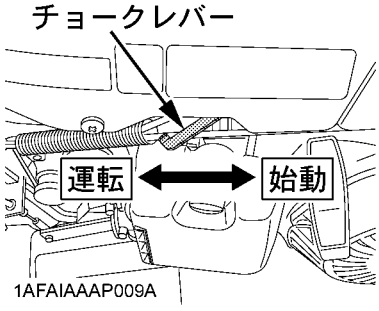
＊給油口の赤色ゲージ以上に燃料を入れないでください。

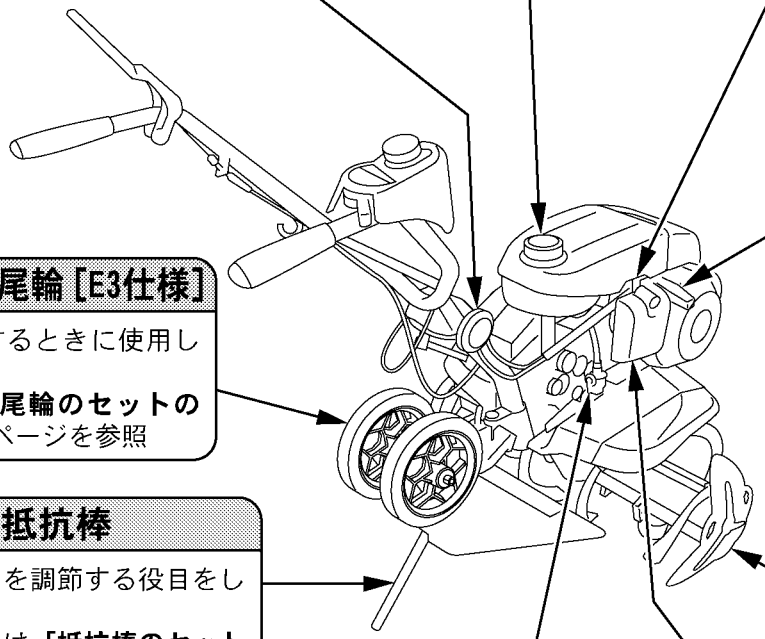


チョークレバー

エンジンがかかりにくい時に使用します。

1. 始動時,**[始動]**位置にレバーを切換えます。
2. 始動後,**[運転]**位置にレバーを切換えます。





リコイルスタータ

注 意

＊リコイルスタータを引っ張る方向に人がいないか,突起物障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。

エンジン始動時に使用します。主クラッチレバーを**[切]**にし,メインスイッチを**[運転]**にしてリコイルを引っ張ると始動します。

移動用双尾輪 [E3仕様]

移動などするときに使用します。

[移動用双尾輪のセットのしかた]12ページを参照

抵抗棒

耕うん深さを調節する役目をします。

T仕様以外は,**[抵抗棒のセットのしかた]**13ページを参照し,抵抗棒位置にセットしてください。

1AFAIAAAP0080
1AFAIAAAP014A

楽ラク耕うんロータ [M5, M6仕様]

[楽ラク耕うんロータの取付けかた]14ページを参照

燃料コック

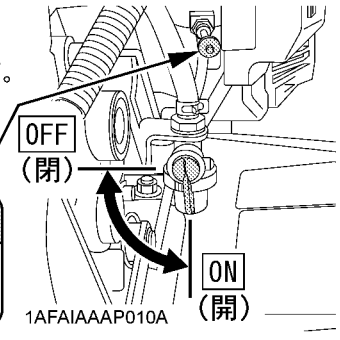
重 要

＊コックを開いた状態で,前に倒したり車両で運搬すると,エンジン始動が困難になる場合があります。

燃料タンクからエンジンへの燃料の**[供給]・[停止]**を切換えます。

エンジン停止後,必ず燃料コックを閉めます。

1. **[OFF](閉)**燃料停止
2. **[ON](開)**燃料供給

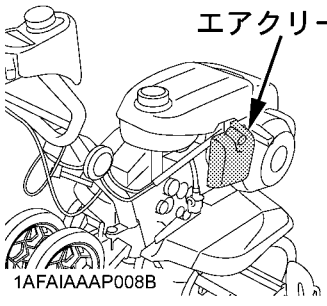


クイックドレン

[燃料の抜取り]
23ページを参照

エアクリーナ

エンジンに清浄な空気を供給するための装置です。



作業前の点検

注　意

＊ 平たんな場所に機械を安定させて点検してください。
＊ 点検中はエンジンを停止してください。

調子よく作業するために

〔詳細は**［管理機の簡単な手入れと処置］**18 ページを参照〕

警　告

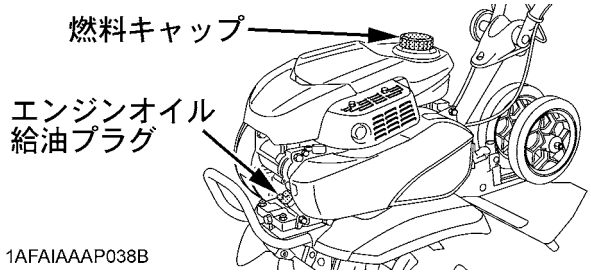
＊ 給油するときはエンジンを停止し，エンジンやマフラがじゅうぶん冷えてから行なってください。
＊ 火気厳禁。くわえ煙草での給油は絶対にしないでください。
＊ 燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。
＊ 燃料は規定量（赤色ゲージ）以上入れないでください。
＊ 給油後，燃料キャップはガソリンがもれないようしっかり締めてください。
＊ 上記の作業をおこたると，爆発・火災のおそれがあります。

■燃料

自動車用レギュラーガソリンを補給します。
燃料キャップを外し，給油口内の赤色ゲージを超えないように補給してください。
タンク容量……約 0.8L

重　要

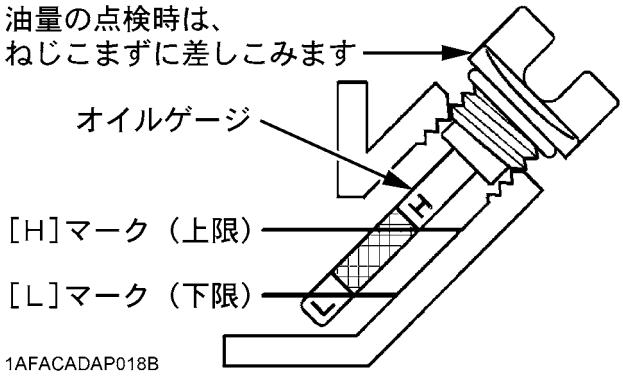
＊ 水やゴミを混入しないようにしてください。



1AFAIAAAP038B

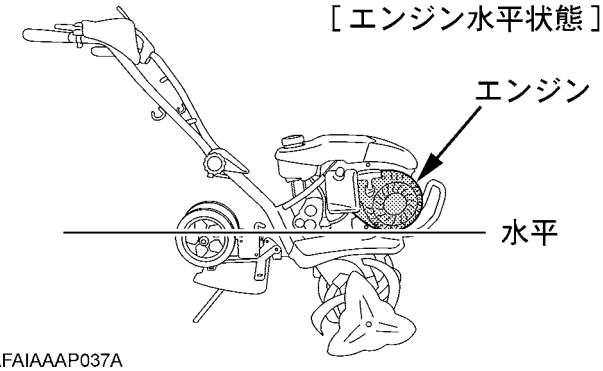
■エンジンオイル

エンジンを水平にして給油プラグを外し，オイル給油口内側のレベルゲージで上限まであるか点検します。
油面が下限に近い場合は，クボタ純オイルを補充します。
（ガソリンエンジン用）スーパー G 10W-30



1AFACADAP018B

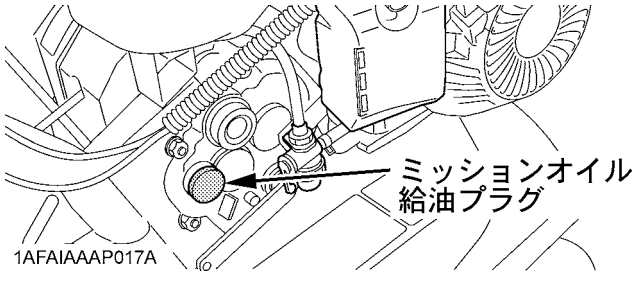
［エンジン水平状態］



1AFAIAAAP037A

■ミッションオイル

エンジンを水平にして，ミッションオイル給油プラグを外し，給油口兼検油口までオイルがあるか点検します。
不足している場合は，クボタ純オイルを補充します。
（ミッション用）M8OB 又はスーパー UDT-2



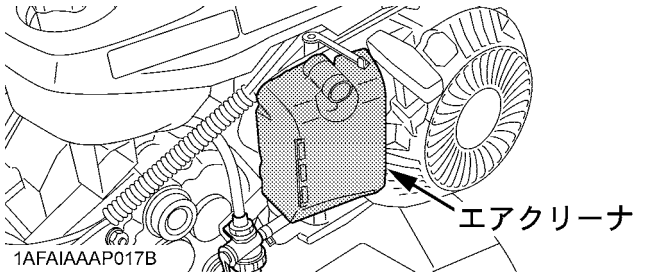
1AFAIAAAP017A

安全に作業するために

■エアクリーナ

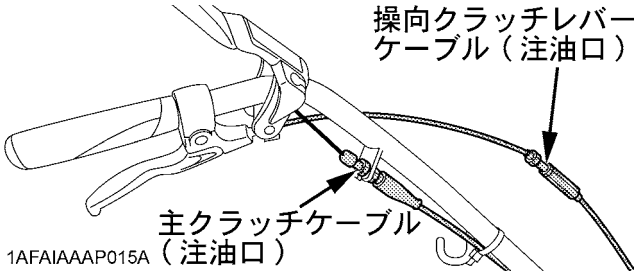
- エアクリーナエレメントにゴミが付着していないか点検します。
- 汚れている場合は清掃してください。

〔詳細は**[エアクリーナエレメントの清掃]**19 ページを参照〕



■各ケーブル

- ケーブル注油部より，エンジンオイルを注油してください。



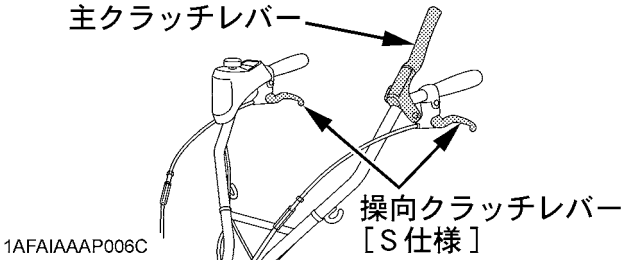
■その他

- エンジン，ミッションなどから油もれがないか点検してください。
- 各しゅう動部へエンジンオイルを注油してください。
- 各部の損傷及びボルト・ナットのゆるみがないか点検してください。

■主クラッチ

- クラッチの **[入]・[切]** が確実に行なえるか点検してください。
- 不良の場合は調整・注油してください。

〔詳細は **[主クラッチケーブルの調節]** 22 ページを参照〕



■操向クラッチレバー［S 仕様］

- クラッチの **[入]・[切]** が確実に行なえるか点検してください。
- 不良の場合は調整・注油してください。

〔詳細は**[操向クラッチケーブルの調節［S 仕様]]** 22 ページを参照〕

■電気配線

- 被覆が溶けたり破れていないか，また配線がはさまれていないか点検してください。

■エンジン周辺部

- ファンカバーやマフラーカバー内にゴミやワラくずの付着がないか点検してください。

■ガソリンもれ

- タンクや燃料パイプからガソリンもれがないか点検してください。もれがある場合は，修理点検してください。
- 自動車用レギュラーガソリンを補給してください。規定量（約 0.8L）以上入れないようにしてください。
- 給油後，ガソリンがもれないよう確実に燃料キャップを締めてください。

運転のしかた

新車時の扱いかた

■ならし運転（最初の 10 時間まで）

この期間中は各部になじみをつけるため，エンジンを高速回転させたり，過酷な使用はさけ無理をさせないようにしてください。

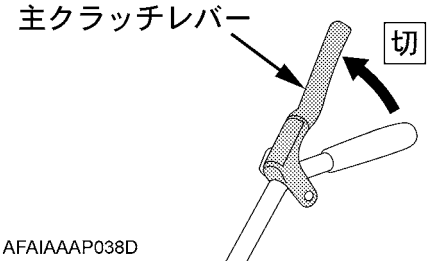
エンジンの始動と停止のしかた

■始動のしかた

注 意

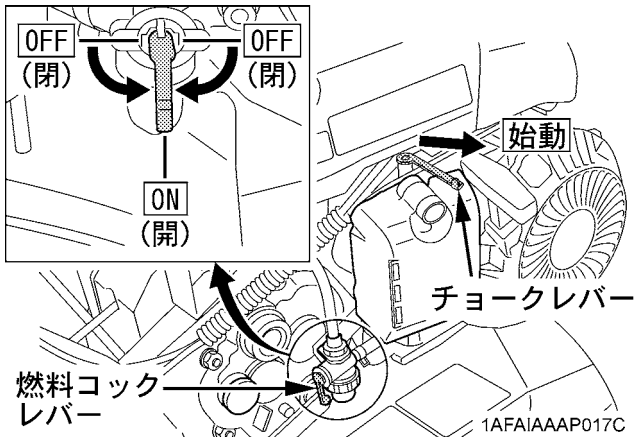
＊ マフラの排気出口方向に，燃えやすい物を置かないでください。火災が発生する原因となります。
＊ リコイルスタータを引っ張る方向に人がいないか，突起物・障害物がないか確かめてから始動してください。傷害事故のおそれがあります。
＊ エンジンの運転中は，危険ですから操作レバー以外の物（マフラなど）には，触れないでください。ヤケドや傷害のおそれがあります。
＊ 夜間作業はしないでください。
＊ エンジンを始動するときは，主クラッチレバーを必ず［切］にしてください。

1. 主クラッチレバーから手を離し，主クラッチが切れていることを確認します。

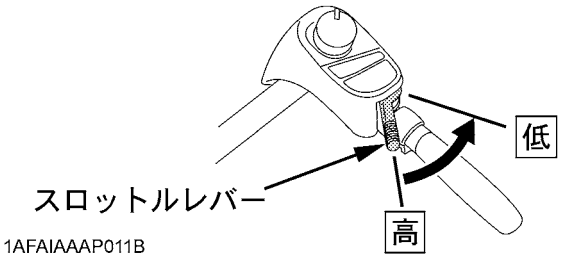


2. 燃料コックを **［ON］（開）** にします。

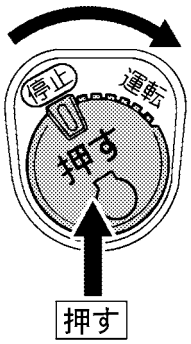
3. チョークレバーを **［始動］** 位置に切り換えます。



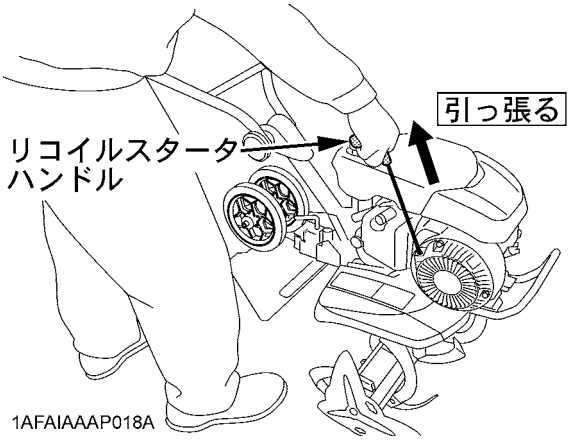
4. スロットルレバーを **［高］** の位置にします。



5. メインスイッチを押しながら **［運転］** 位置まで回します。



6. リコイルスタータハンドルを握って，引っ張ります。
   エンジンが始動したら，リコイルスタータハンドルを静かに元に戻してください。



1AFAIAAAP018A

7. エンジンの運転状態を確認しながら，チョークレバーを徐々に**【運転】**の位置に戻します。
8. ２～３分暖気運転をしてから，作業を始めてください。

重　要

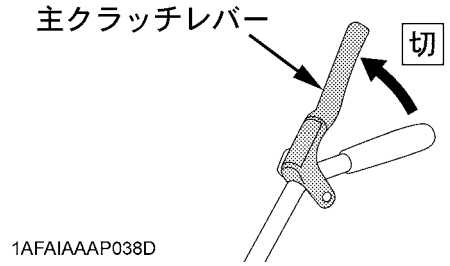
＊ 運転中はリコイルスタータを引かないでください。

■停止のしかた

警　告

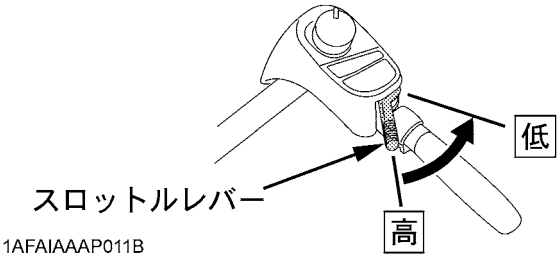
＊ 停止直後はしばらくマフラが熱くなっています。手を触れないでください。ヤケドのおそれがあります。

1. 主クラッチレバーから手を離します。



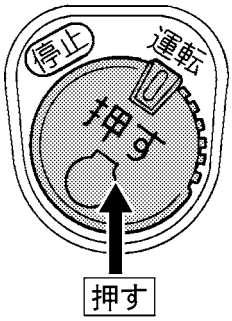
1AFAIAAAP038D

2. スロットルレバーを**【低】**位置にします。



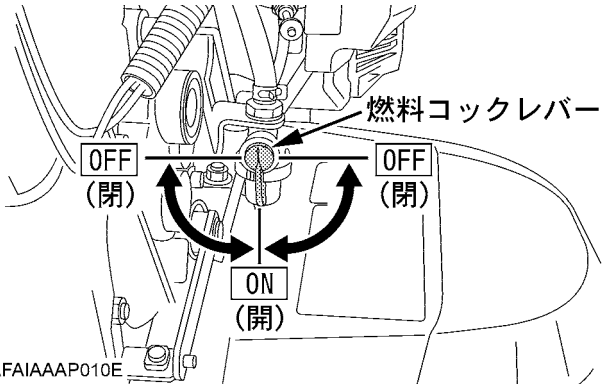
1AFAIAAAP011B

3. メインスイッチを押すと左に回り**【停止】**位置に戻り，エンジンが停止します。



1AFACAAAP059C

4. 燃料コックを**【OFF】（閉）**位置にします。



1AFAIAAAP010E

重　要

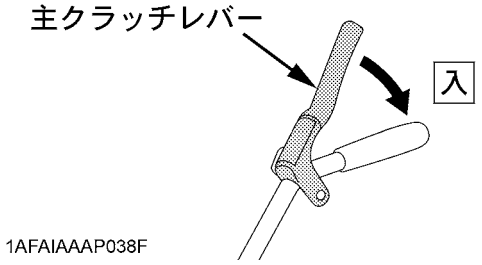
＊ コックを開いたままの状態で保管したり，車両で運搬したりすると，エンジン始動が困難となる場合があります。
   また，クランクケース内へガソリンが流入することもあります。

発進のしかた

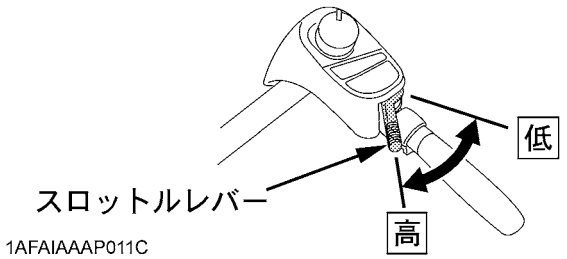
警　告

＊ 運転中は周囲に人を近づけないでください。傷害事故のおそれがあります。
＊ 危険を感じたら，早めに手を離してください。
＊ 主クラッチレバーの操作は，ゆっくり行なってください。急激な操作を行なうと機体が飛び出し危険です。
＊ 移動輪を取付けて移動するときは，必ずスロットルレバーを［低］の位置にし，エンジン回転を下げてください。
＊ スロットルレバーが［高］の位置で主クラッチレバーを押さえると，機体が飛び出し危険です。
＊ 機体を持上げるときは，必ずエンジンを止めてください。ロータが回転して危険です。

1. 主クラッチレバーを左手で下に押さえると発進します。



2. スロットルレバーを操作して速度を調節します。



作業のしかた

上手な作業のしかた

下記操作手順を守り安全作業を心がけてください。

■作業前の準備

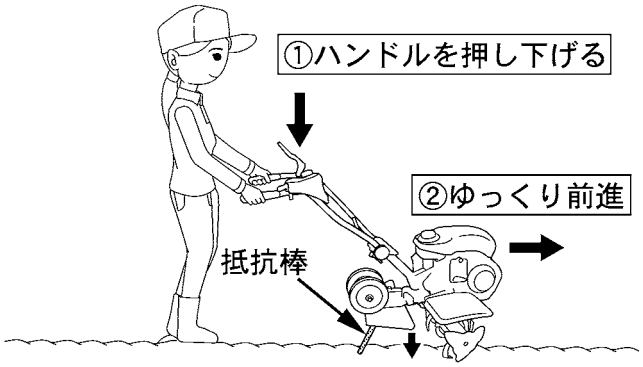
＊ 各部の調節要領および作業ごとの設定要領を参照して，作業目的に合わせた設定を行なってください。

■耕うん作業手順

丈の長い草や大きな石など，あらかじめ除去しておくと楽に耕すことができます。

◆ 耕うんのしかた

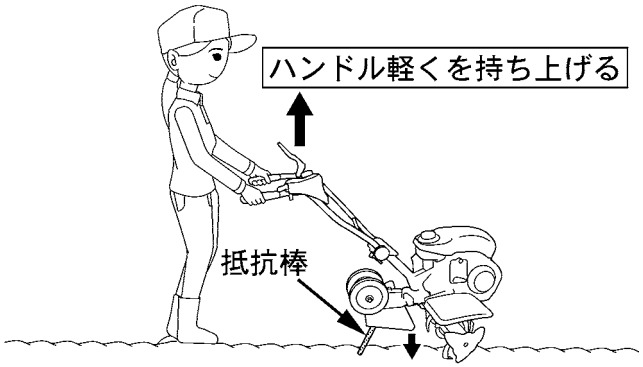
1. 耕したい場所（地面）で，ハンドルを下へ押し下げながら，抵抗棒を地面に沈みこませます。
2. 主クラッチレバーを握り，耕うん爪を地面に食い込ませながら発進し，同じ場所を何回か耕うんしながら少しずつゆっくりと前方に進みます。



1AFAIAAAP043A

◆ 機体が深くもぐって前に進まないとき

1. ハンドルを上方向に軽く持ち上げます。
2. 抵抗棒の沈みが浅くなり，機体が前に進みやすくなります。

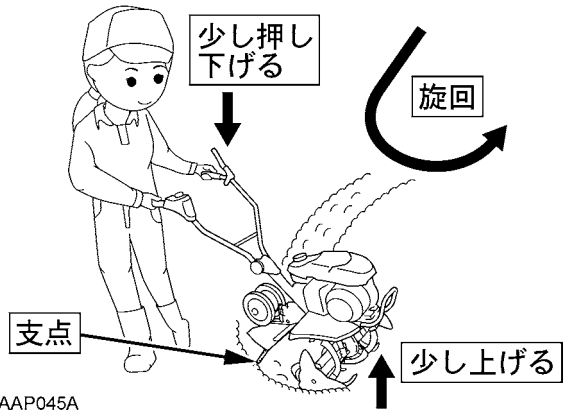


1AFAIAAAP043C

◆ 旋回のしかた

[S 仕様以外]

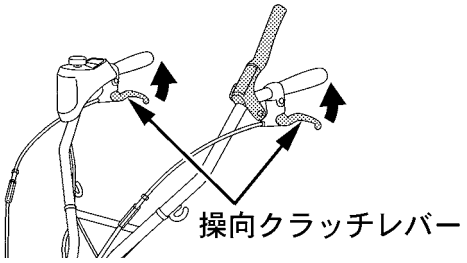
旋回する時は，耕うんしながらハンドルを少し押し下げロータ部を少し上げながら抵抗棒を支点にして旋回します。



1AFAIAAAP045A

[S 仕様]

- 左側旋回する時は、左側操向クラッチレバーを握ると左側車軸が停止しますので，ハンドルを持ち上げ抵抗棒等を地面から離すようにして左旋回してください。
- 右側旋回する時は、右側操向クラッチレバーを握ると右側車軸が停止しますので，ハンドルを持ち上げ抵抗棒等を地面から離すようにして右旋回してください。



1AFAIAAAP006E

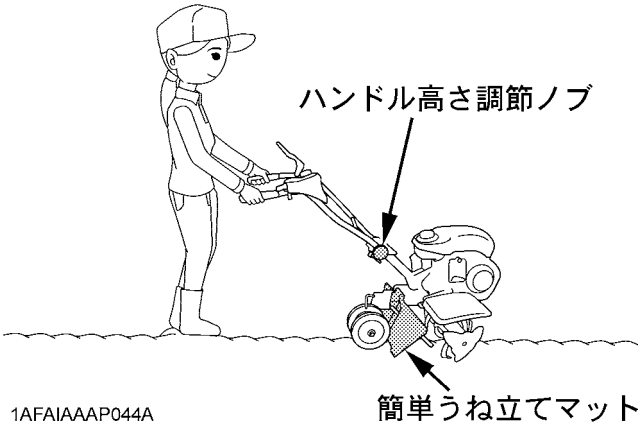
重　要

＊ ハウスや小屋の中，果樹園など障害物がある場所では主クラッチレバーを切り，周囲をよく確認しながら旋回してください。

◆ 簡単うね立てマットでのうね立てのしかた

＊ うね立て前には，事前にほ場を深く耕うんしてください。
簡単うね立てマットをセット状態にしてください。
〔**[簡単うね立てマットのセットのしかた]** 11 ページ参照〕

1. ハンドル高さを耕うん作業で使用する高さから一段下げます。
〔**[ハンドル高さの調節]** 10 ページ参照〕
2. 主クラッチレバーを握り，耕うん爪を地面に食い込ませながら発進し，少しずつ前方に進みながらうねを立てます。



1AFAIAAAP044A

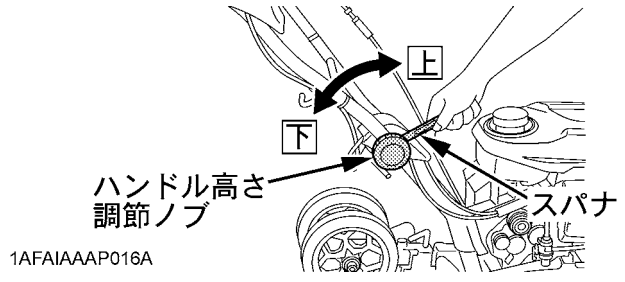
各部の調節

■ハンドル高さの調節

注　意

＊ 平たんな場所に機械を安定させて，エンジンを必ず停止して行なってください。傷害事故のおそれがあります。

ハンドル高さ調節ノブを４～５回転ゆるめて，高さを調節してください。ノブが固くて回せない場合は，スパナでゆるめてください。
ハンドルがガタつく場合は，スパナで締付けてください。



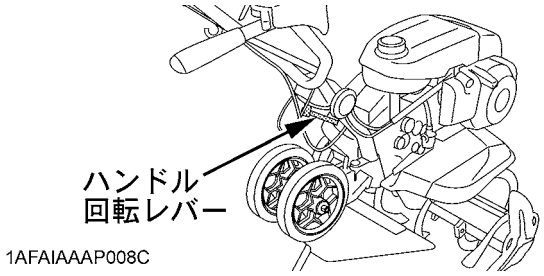
1AFAIAAAP016A

■ハンドルの左右回動

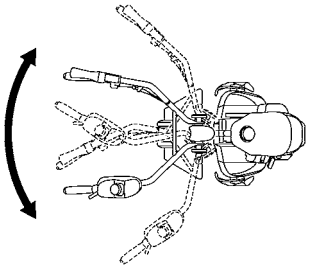
注　意

＊ 平たんな場所に機械を安定させて，エンジンを必ず停止して行なってください。傷害事故のおそれがあります。

ハンドル回動レバーを４～５回まわしてゆるめると，左右にそれぞれ１段階（左右各 22.5°）ハンドルを回動できます。



1AFAIAAAP008C

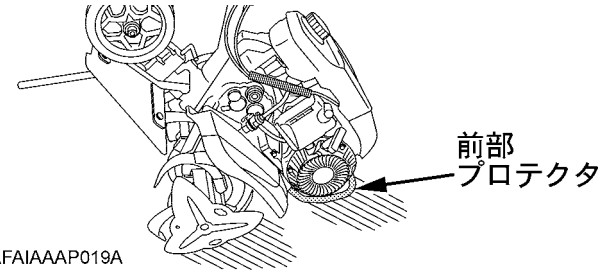

1AFAIAAAP020A

■簡単うね立てマットのセットのしかた［U仕様］

注　意

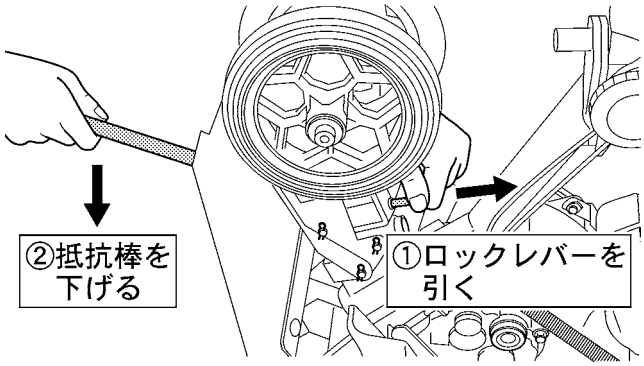
＊ 簡単うね立てマットを作業位置へセットするときは，エンジンを停止してください。傷害事故のおそれがあります。
＊ 燃料コックを開（ON）いた状態で前に倒すとエンジン始動が困難になる場合がありますので，必ずコックを閉（OFF）じてから前方に倒してください。

1. 前部プロテクタを地面に接地させます。



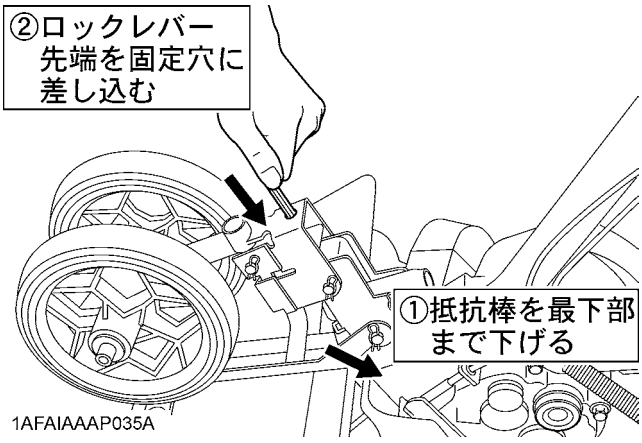
1AFAIAAAP019A

2. ロックレバーを引きながら抵抗棒を下げます。



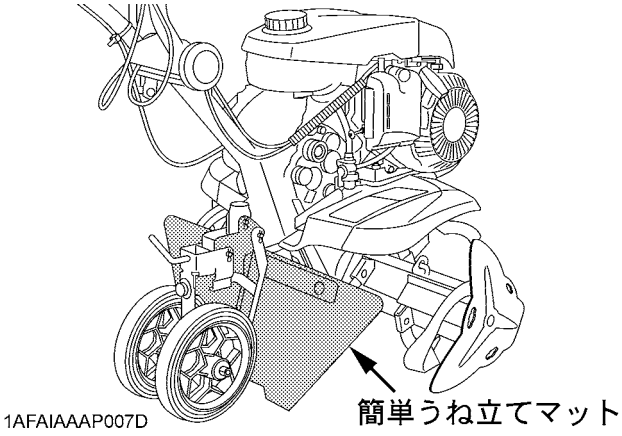
1AFAIAAAP034A

3. 抵抗棒を最下部まで下げ，ロックレバー先端を固定穴に差し込むとセット完了です。



1AFAIAAAP035A

［簡単うね立てマットセット状態］



1AFAIAAAP007D

■培土機の取付けかた

培土機は，別途ご購入ください。

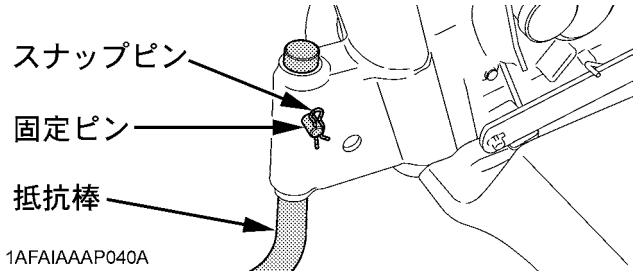
警　告

＊ 培土機を取付けるときは，必ずメインスイッチを［停止］位置にして，作業してください。傷害事故のおそれがあります。

◆ 抵抗棒／ホルダの取外しかた

[T 仕様]

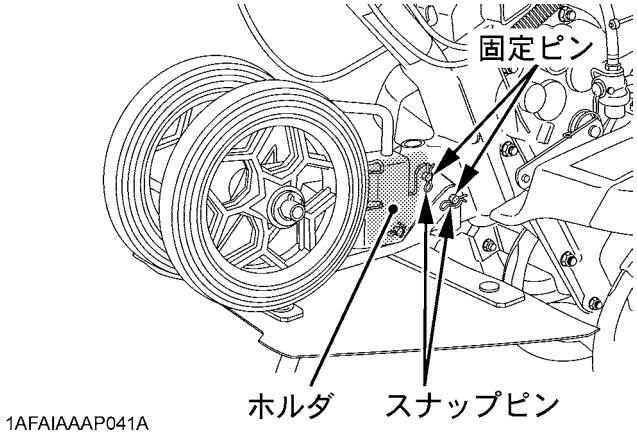
スナップピンと固定ピンを抜き抵抗棒を取外します。



1AFAIAAAP040A

[T 仕様以外]

２箇所のスナップピンと固定ピンを抜き，ホルダを取外します。



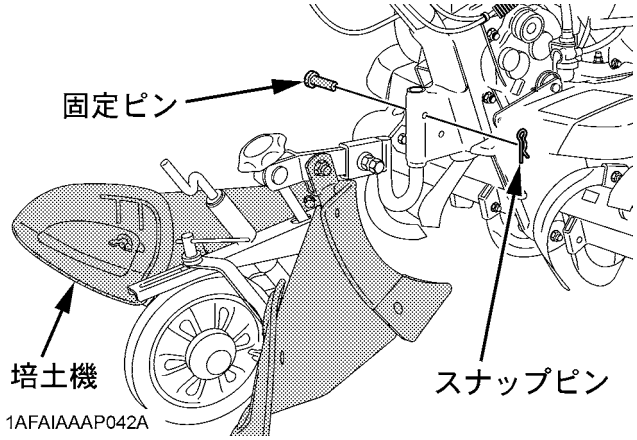
1AFAIAAAP041A

◆ 培土機の取付けかた

培土機は抵抗棒及びホルダを外した固定ピン・スナップピンで取付けます。

重　要

＊ 取付け後は，固定ピン・スナップピンで確実に固定されているか確認してください。



1AFAIAAAP042A

■移動用双尾輪のセットのしかた［E3 仕様］

注　意

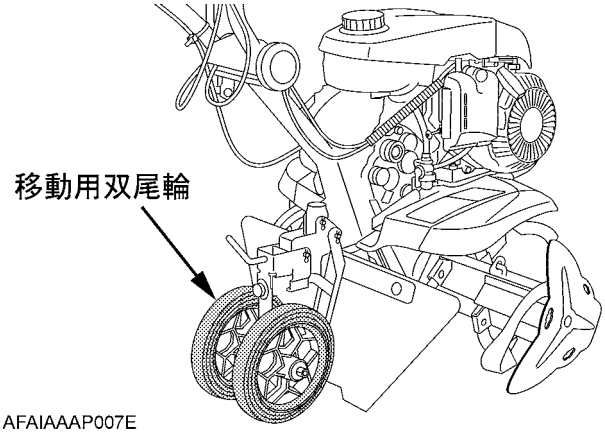
＊ 移動用双尾輪を移動位置へセットするときは，エンジンを停止してください。傷害事故のおそれがあります。
＊ 燃料コックを開（ON）いた状態で前に倒すとエンジン始動が困難になる場合がありますので，必ずコックを閉（OFF）じてから前方に倒してください。

簡単うね立てマットのセットのしかたと同じです。

〔**[簡単うね立てマットのセットのしかた]**11 ページを参照〕

1. 前部プロテクタを地面に接地させます。
2. ロックレバーを引きながら抵抗棒を下げます。
3. 抵抗棒を最下部まで下げ，ロックレバー先端を固定穴に差し込むとセット完了です。

[移動用双尾輪セット状態]



1AFAIAAAP007E

補　足

＊ 移動時は燃料コックを**閉(OFF)**じてください。

■抵抗棒のセットのしかた［T 仕様除く］

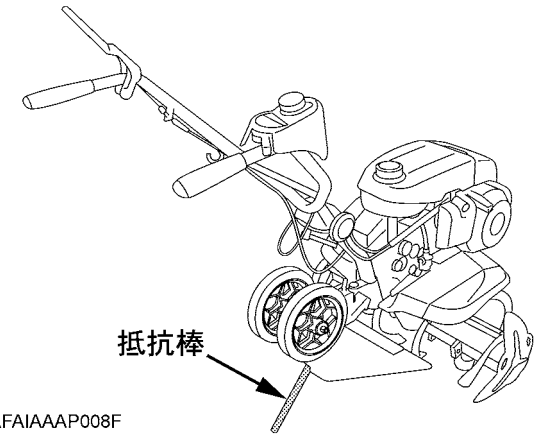
注　意

＊ 抵抗棒を作業位置へセットするときは，エンジンを停止してください。傷害事故のおそれがあります。
＊ 燃料コックを開（ON）いた状態で前に倒すとエンジン始動が困難になる場合がありますので，必ずコックを閉（OFF）じてから前方に倒してください。

簡単うね立てマットのセットの逆手順でセットします。
〔**[簡単うね立てマットのセットのしかた]**11 ページを参照〕

1. 前部プロテクタを地面に接地させます。
2. ロックレバーを引きながら抵抗棒を上げます。
3. 抵抗棒を最上部まで上げ，ロックレバー先端を固定穴に差し込むとセット完了です。

[抵抗棒セット状態]



ワンタッチ移動輪での運転のしかた［Y3 仕様］

警　告

＊ エンジンが高速回転時，主クラッチレバーを押さえると機体が飛び出し危険です。

移動輪を取付けて移動するときは，必ずスロットルレバーを**［低］**の位置にし，エンジン回転を下げてください。

操向クラッチレバー［S 仕様］

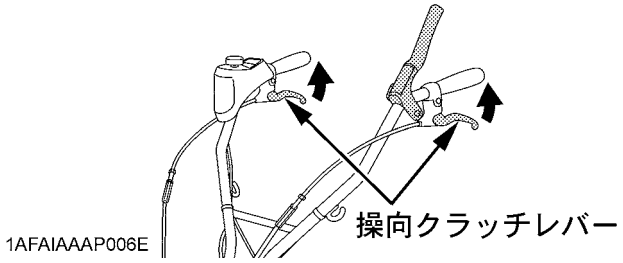
注　意

＊ 車両への積降ろし時や坂道では，絶対に操作しないでください。

- 左側レバーを握ると左側車軸が停止し，左側に旋回します。
- 右側レバーを握ると右側車軸が停止し，右側に旋回します。

■旋回のしかた

- 左側旋回する時は、左側操向クラッチレバーを握ると左側車軸が停止しますので，ハンドルを持ち上げ抵抗棒等を地面から離すようにして左旋回してください。
- 右側旋回する時は、右側操向クラッチレバーを握ると右側車軸が停止しますので，ハンドルを持ち上げ抵抗棒等を地面から離すようにして右旋回してください。



補　足

＊ 作業中はできるだけ操向クラッチレバーを握らないようにしてください。ハンドル操作での作業をしてください。
＊ 作業中，操向クラッチレバーは主クラッチを**［入］**の状態にして握ってください。
（主クラッチを離すと機体が停止します。）

ロータ・ワンタッチ移動輪の取付けかた

注　意

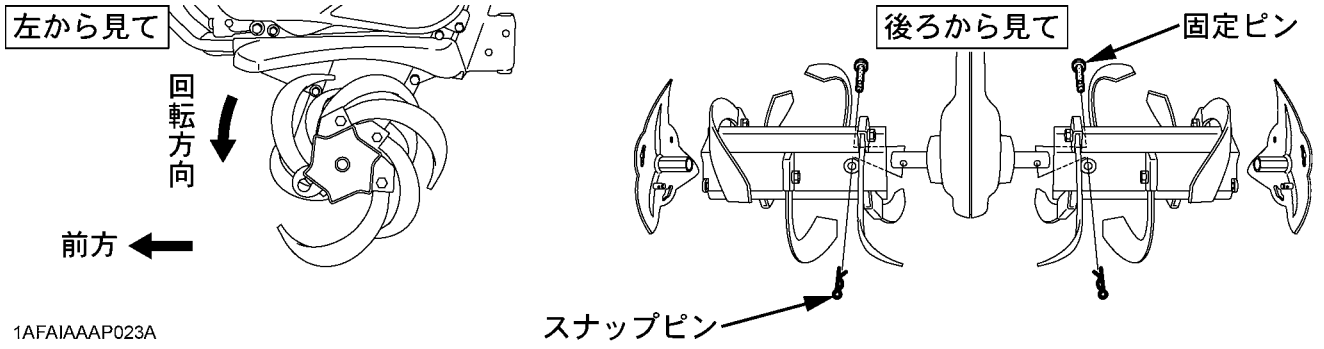
＊ 作業機の交換・調整をするときは，本機を平たんな広い場所に置き必ずエンジンを停止して作業してください。

重　要

＊ ロータを交換するときは，必ず燃料コックを **[OFF]（閉）** にしてください。

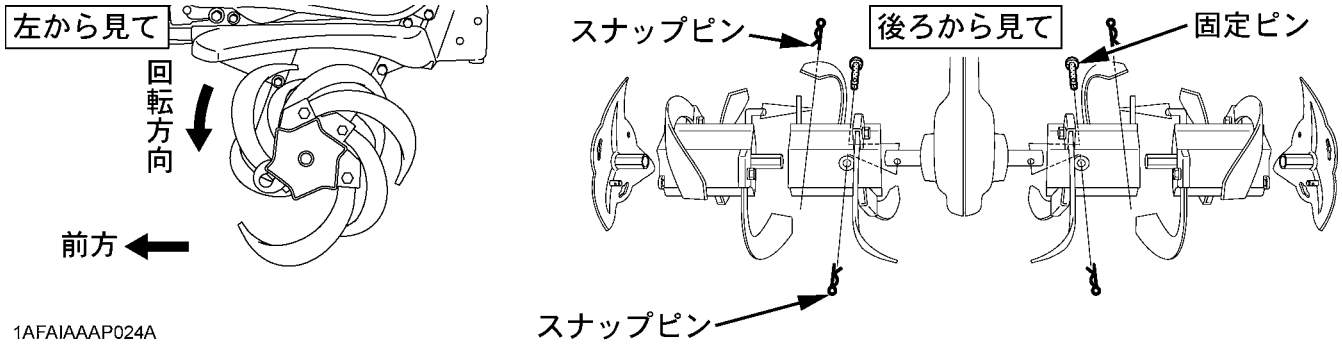
■楽ラク耕うんロータの取付けかた［M5，M6 仕様］

◆ 一体型楽ラク耕うんロータ[M5 仕様]は下図のように固定ピンを差込み，スナップピンで固定します。



1AFAIAAAP023A

◆ 分割型楽ラク耕うんロータ [M6仕様] は下図のように固定ピンを差込み，スナップピンで固定します。



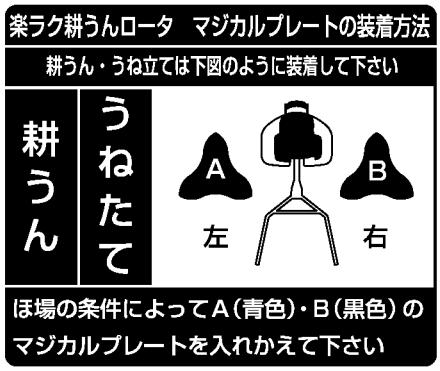
1AFAIAAAP024A

重　要

＊ 車軸にロータを取付けるときは，左右同時打ち込みになるように 左 右 ラベルを合わせて取付けてください。

■マジカルプレートの装着方法

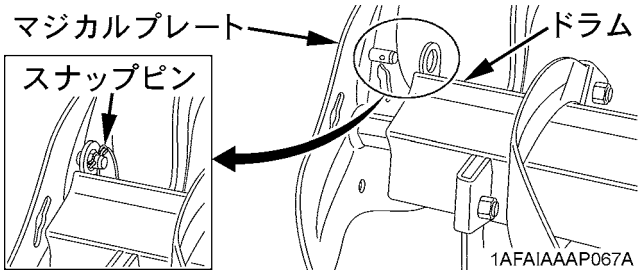
マジカルプレートは，プレートの回転方向により土にくい込む方向と，浮く方向があります。通常の状態（**【A】**左，**【B】**右）で使用すると爪は土の中に深く入っていきます。ロータがもぐり込み，前に進みにくいほ場では左右のプレートを逆に取り付ける（**【B】**左，**【A】**右）とロータが浮きスムーズな耕うんが可能になります。
通常の作業は，下図のようにマジカルプレートをセットしてください。
ほ場の条件によってマジカルプレートを入れ替えてください。



1AFAIAAAP021A

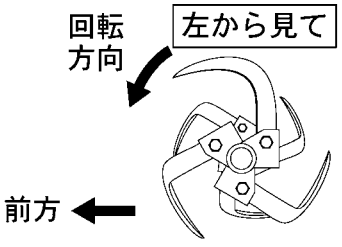
補　足

＊ マジカルプレートは下図のようにロータのドラムに差込みスナップピンで固定します。

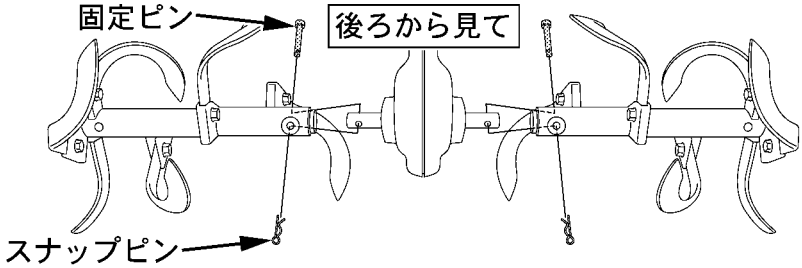


■ミラクルロータの取付けかた［N 仕様］

◆ ミラクルロータ［N 仕様］は下図のように固定ピンを差込み，スナップピンで固定します。



1AFAIAAAP025A



重　要

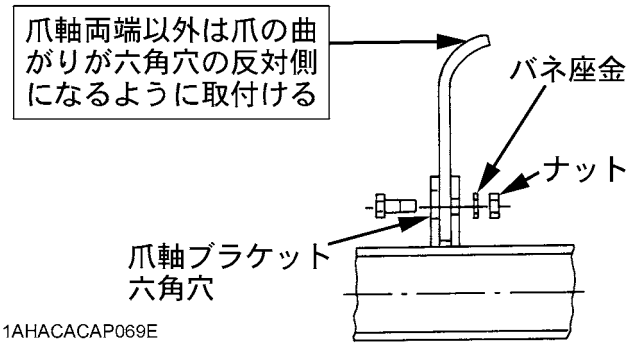
＊ 車軸にロータを取付けるときは，左右同時打ち込みになるように 左 右 ラベルを合わせて取付けてください。

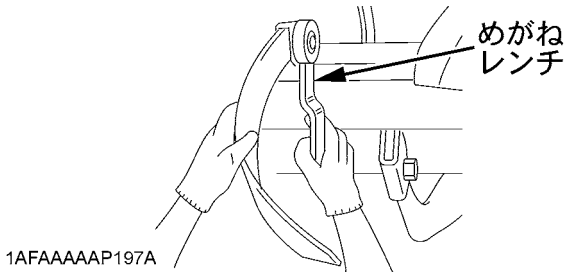
■耕うん爪の取付けかた

注　意

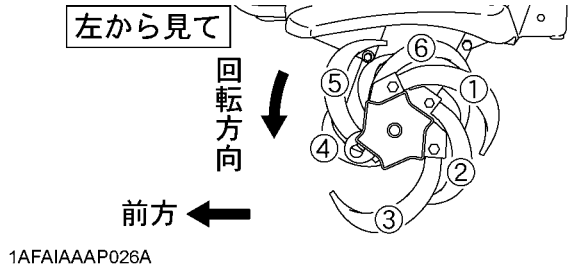
＊ ボルト・ナットを締付ける場合は，めがねレンチが確実に入ったか確認してください。

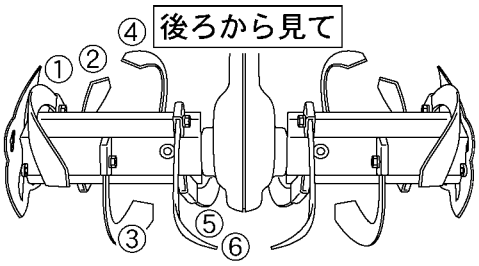
1. 爪の曲がりが六角穴の反対側になるように取付けてください。
2. ボルトは六角穴側よりボルトを入れ，反対側よりバネ座金を入れ，ナットで締付けてください。





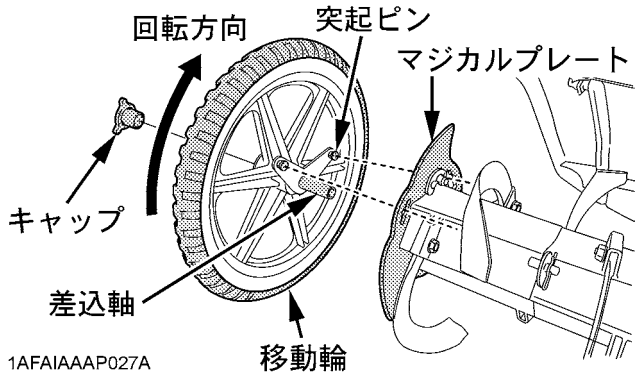
[締付けトルク 23.5 ～ 27.4N・m (2.4 ～ 2.8kgf・m)]





■ワンタッチ移動輪の取付けかた［Y3 仕様］

◆ 移動輪をマジカルプレートに取付けるときは，下図のように移動輪の差込軸及び２箇所の突起ピンをマジカルプレートの穴に確実に差込み，前後いずれかの方向に回転させてください。（固定ピン及びスナップピンは不要です）



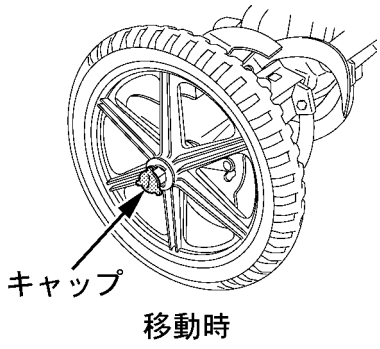
◆ ワンタッチ移動輪用キャップの使い方

● 移動時

移動輪にキャップを取付けて移動します。移動時に外れないようキャップは奥まで差込んでください。

● 耕うん・うね立て時

マジカルプレートに取付けます。
キャップ頭部の突起部をマジカルプレートの溝に合わせて差込みます。
耕うん・うね立て時に外れないようキャップは奥まで差込んでください。



重　要

＊ ほ場以外での移動時は必ず移動用双尾輪**［T 仕様除く］**またはアタッチメント採用の移動輪**［Y3 仕様は標準装備］**を装着してください。（故障の原因となりますので，ロータ，鉄車輪などでのほ場外移動はしないでください。）

管理機の簡単な手入れと処置

廃棄物の処理について

警 告

廃棄物をみだりに捨てたり，焼却しないでください。環境汚染につながり，法令により処罰されることがあります。
廃棄物を処理するときは
＊ 機械から廃液を抜く場合は，容器に受けてください。
＊ 地面へのたれ流しや河川，湖沼，海洋への投棄はしないでください。
＊ 廃油，ゴム類，その他の有害物を廃棄，又は焼却するときは，購入先，又は産業廃棄物処理業者などに相談して，所定の規則に従って処理してください。

日常の手入れ

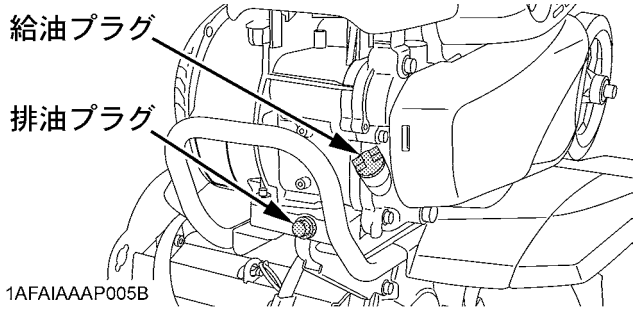
注 意

＊ 給排油・点検・調節・清掃は，エンジンを停止し，エンジンやマフラがじゅうぶん冷えてから行なってください。
＊ 平たんな場所に機械を安定させて行なってください。

■エンジンオイルの交換

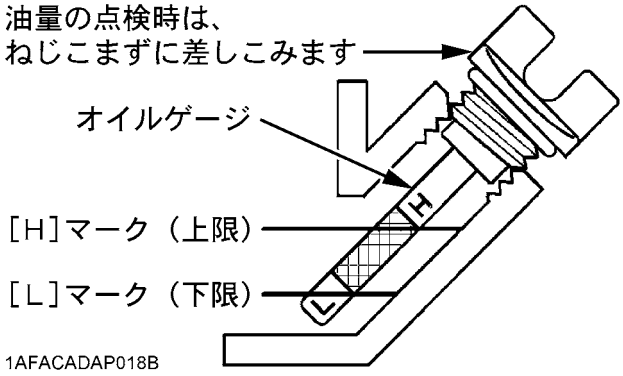
◆ 排油のしかた

機体を水平に安定させ排油プラグを外し，排油します。この時，必ずオイルパン等で受けてください。



◆ 給油のしかた

エンジンを水平にして，オイルゲージを用いて規定量まで入れます。給油後はプラグを確実に締めてください。



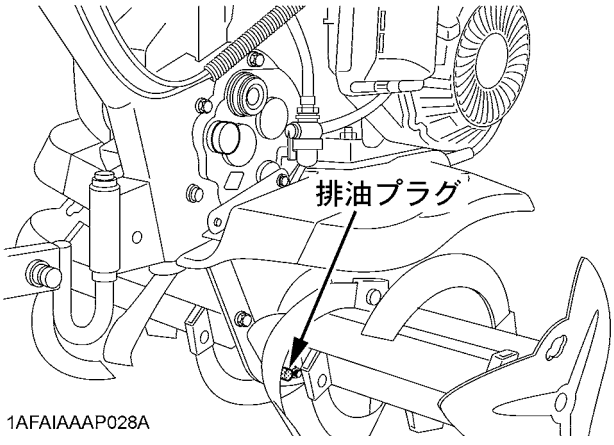
重 要

＊ 粗悪なオイルを使用しますと，エンジンの寿命を急激に縮めますので，購入先でクボタ純オイル スーパーG 10W-30 とご指定の上，お求めください。
〔次の**［オイルの点検と交換表］**を参照〕
＊ 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。

■ミッションオイルの交換

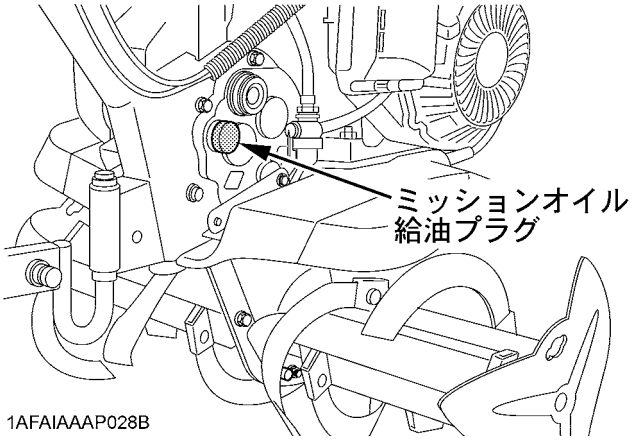
◆ 排油のしかた

ミッションオイル排油プラグを外して排油します。この時，必ずオイルパン等で受けてください。



◆ 給油のしかた

エンジンを水平にして，ミッションオイル給油プラグを外し，給油口兼検油口まで給油します。



重　要

＊ 粗悪なオイルを使用しますと，機械の寿命を急激に縮めますので，購入先でクボタ純オイル M80B，NEW UDT 又はスーパー UDT-2 とご指定の上，お求めください。
〔次の**［オイルの点検と交換表］**を参照〕

＊ 排油・検油・給油後はプラグを確実に締めてください。

＊ オイルを交換する場合は，まず旧油を排出しますが，ケース内のゴミも同時に排出させるために，できるだけ運転使用後，オイルが暖まっている状態のとき排出してください。

オイルの点検と交換表

エンジンオイル	オイル量		0.46L
	点検方法		エンジン水平
	交換第一回目		20 時間使用後
	交換第一回目以後		50 時間使用後
	オイルの種類		クボタ純オイル（ガソリンエンジン用） スーパー G　10W-30
ミッションオイル	オイル量	TMS30	1.1L
		TMS30S	1.0L
	点検方法		エンジン水平
	交換第一回目		20 時間使用後
	交換第一回目以後		年一回
	オイルの種類		クボタ純オイル（ミッション用） M80B，NEW UDT 又はスーパー UDT-2

■エアクリーナエレメントの清掃

1. ボルトをゆるめてエアクリーナカバーを開け，スポンジエレメント・濾紙エレメントを取出してください。
2. スポンジエレメントは石鹸液で洗浄した後，水洗いをし，じゅうぶん乾燥させてから取付けてください。
3. 濾紙エレメントは軽くたたいて付着している汚れを落としてください。(汚れがひどい場合には，エレメントを新しいものと交換してください。

重　要

＊ スポンジエレメント，濾紙エレメントには，エンジンオイルを付けないでください。濾紙エレメントの清掃に圧縮空気は使わないでください。

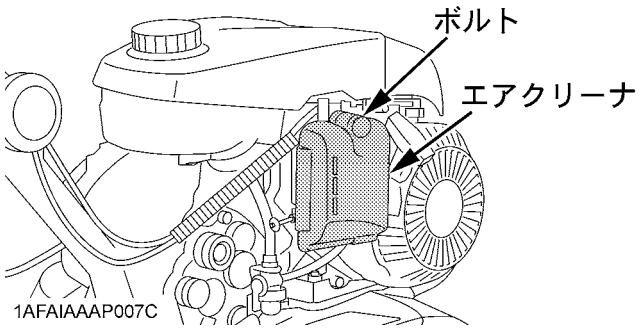
＊ エアクリーナを取外したままエンジンを運転しないでください。ゴミやホコリを吸込み，エンジン不調やエンジン異常摩耗の原因となります。

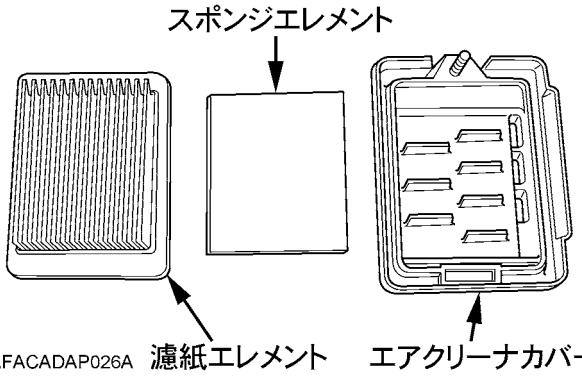
＊ 汚れたまま使用しますと，エンジンの出力低下や故障の原因になります。

＊ ほこりの多い環境では，エレメントの清掃・交換を早めに行なってください。

25 時間使用ごと	スポンジエレメントの清掃
100 時間使用ごと	濾紙エレメントの清掃

＊ チリやほこりの多い場所で使用するときは毎日清掃してください。





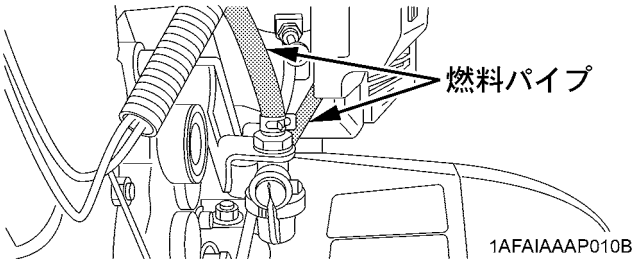
■燃料パイプの交換

交換にあたっては，購入先にご相談ください。

警　告

＊ 燃料パイプは自然劣化したり傷があると，ガソリンもれして火災の原因となります。ヒビや割れが発生したものは，新しい燃料パイプと交換してください。

交　換	2年間ごと



■燃料フィルタの清掃

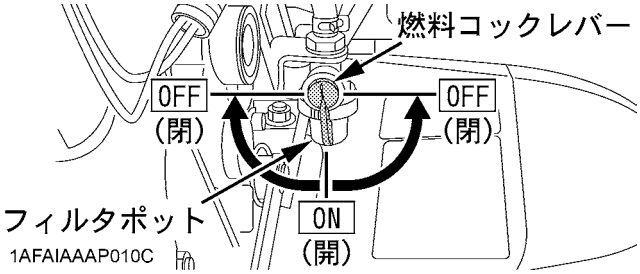
注　意

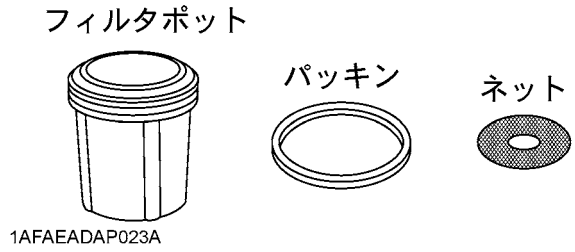
＊ 取付け後，ガソリンもれがないか確認してください。

1. 燃料フィルタは，燃料のゴミを取除きます。取除かれたゴミは，ポットの底にたまります。
2. 燃料コックレバーを**【OFF】**にし，フィルタポットを外し，ポットの底にたまっているゴミや水を捨てます。
3. 燃料タンク内を点検し，底に異物がたまっている場合は，取除いてください。

100時間使用ごと	フィルタの清掃
300時間使用ごと	タンクの清掃

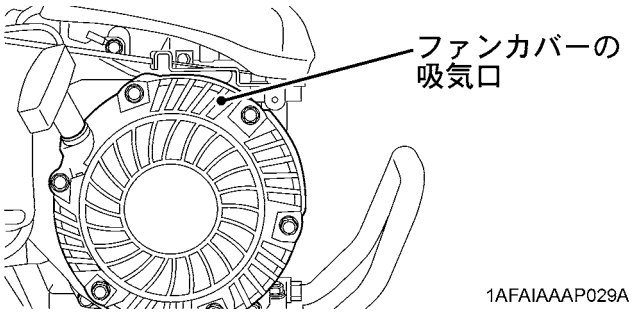
4. フィルタポットを再装着するときは，確実に締め付け，燃料もれがないか必ず確認してください。





■ファンカバーの清掃

ファンカバーの吸気口は，きれいに清掃します。ゴミやワラくずなどの付着があるとエンジンの過熱や出力低下の原因になります。（ここからエンジンの冷却風が吸込まれます。）



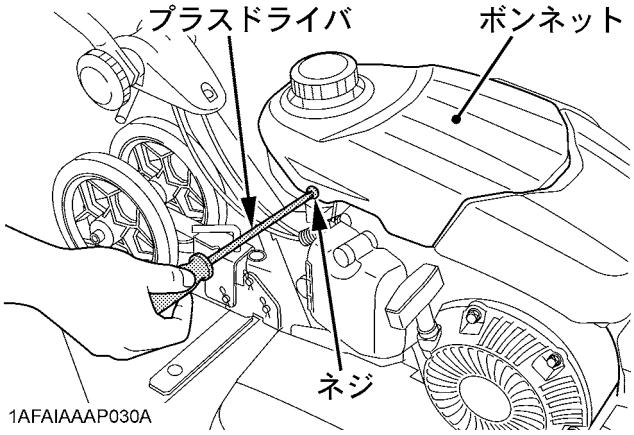
■点火プラグの調節・清掃・交換

注　意

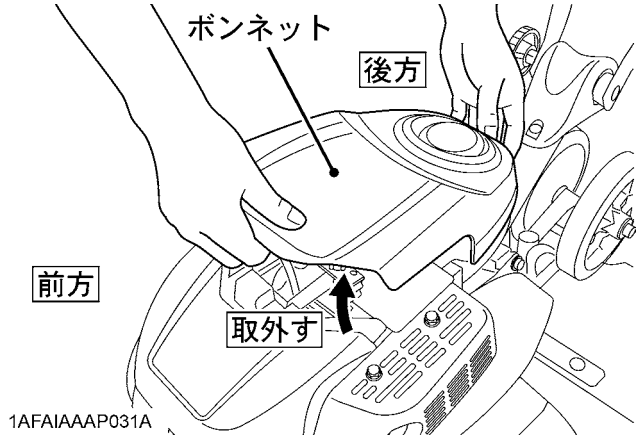
＊ 高温部が冷えてから行なってください。

◆ ボンネットの取外しかた

1. ボンネットのネジ１箇所をプラスドライバで外します。

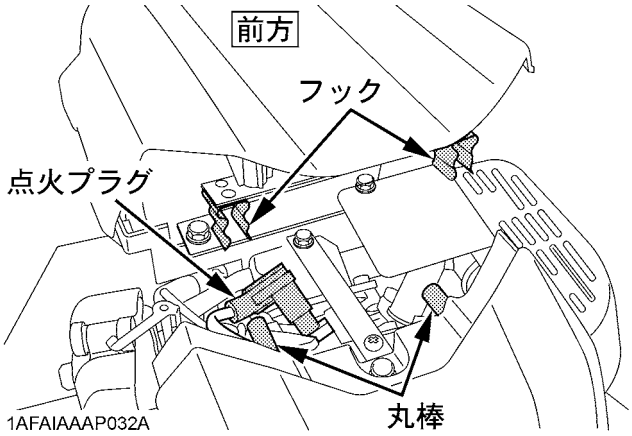


2. ボンネットの手前に手を掛け、必ず前方から取外してください。



◆ ボンネットの取付けかた

1. 前方のフックを丸棒に差し込みボンネットを取付けます。
2. **［ボンネットの取外しかた］**の 1. で取外したネジでボンネットを固定してください。

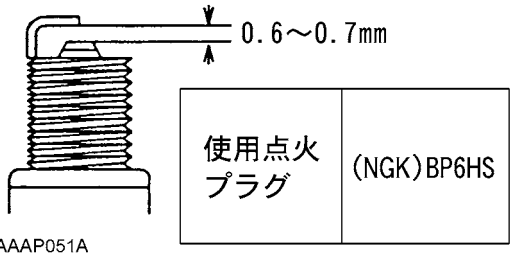


重　要

＊ 部品の破損のおそれがありますので，ボンネットの取付け，取外しは上記の方法で必ず行なってください。

◆ 点火プラグの調節・清掃・交換

1. プラグ用ボックススパナでプラグを外して，清掃します。
2. 電極のすき間が 0.6 ～ 0.7㎜ になるように調節します。
3. 点検調節は６ヶ月に１回行なってください。



4. 作業が終わったら，ボンネットカバーを元の位置に戻してください。

重　要

＊ プラグ締付け時は，ネジ山をつぶさないように，はじめ手で締込んでから，ボックススパナで締付けてください。
＊ 調節・清掃してもエンジンが不調なときは，新しいプラグと交換してください。
＊ プラグを外したまま始動操作しないでください。

■主クラッチケーブルの調節

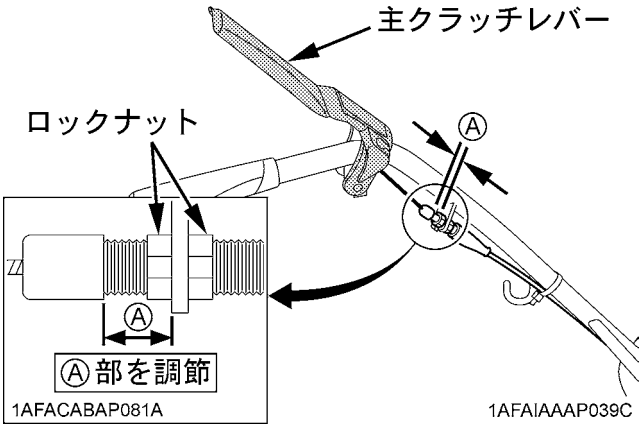
警　告

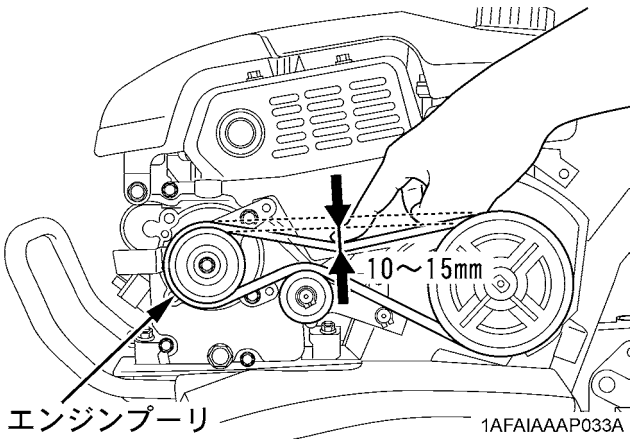
- **ベルト調節を行なう場合は，必ずエンジンを停止して行なってください。**
- **調節が終わったら必ずベルトカバーを取付けてください。巻込まれるなど傷害事故を引き起こすおそれがあります。**
- **調節・確認時は周囲に人や動物を近づけないでください。傷害事故を引き起こすおそれがあります。**

◆ 主クラッチケーブルによる調節

主クラッチレバーを入れた状態でベルトの中央部を指で押えて10～15㎜たわむ程度にケーブル調節金具でテンションプーリを調節してください。なお，使用初期はベルトが伸びやすいため，10時間使用後ケーブルを再調節してください。

ベルトがスリップする場合	調節金具の A 部を短くする
主クラッチレバーが重すぎる場合	調節金具の A 部を長くする





重　要

- ＊ 主クラッチケーブルを調節した場合，エンジンを始動してクラッチの**［入］・［切］**が確実に作動するか確認してください。
- ＊ 調節後は，調節金具のロックナットを確実に締付けてください。

補　足

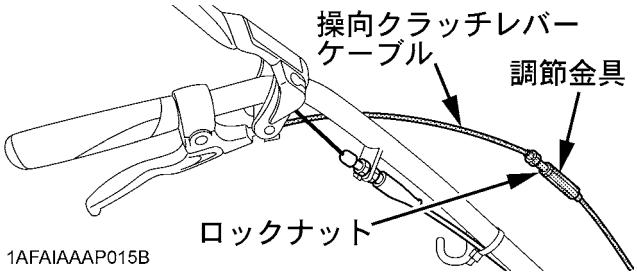
- ＊ ケーブルで調整できない場合は，購入先にご相談ください。

■操向クラッチケーブルの調節［S 仕様］

操向クラッチレバーを握っても操向クラッチが切れにくい場合，また操向クラッチレバーを放しても入りにくい場合は，調節金具のロックナットをゆるめて調節します。

切れにくい場合	調節金具を長くする
戻りにくい場合	調節金具を短かくする

調節後はロックナットを確実に締付けてください。



使用後の手入れ

使用後は，必ずその日に清掃を行ない，各部に付いている土やゴミを落とし，各しゅう動部は錆びないように油やグリス及び防錆剤を適宜塗布します。特にファンカバー内にゴミが詰まりますと，エンジンの焼付きなどの原因になりますので，よく点検・清掃を行なってください。

重　要

- ＊ 水洗いのとき，エアクリーナ吸込口から水が入らないようにカバーをしてください。

■エンジン始動不良を防ぐために

エンジン停止後，必ず燃料コックレバーを閉めてください。

重　要

＊ コックレバーを開いたままの状態で，保管したり，前に倒したり，また車両で運搬したりすると，エンジン始動が困難となる場合があります。また，クランクケース内へガソリンが流入することもあります。

■長期格納時の手入れ

警　告

＊ カバーをかけたり，納屋に格納するときは，エンジンが冷えてからにしてください。火災のおそれがあります。
＊ 燃料がこぼれたときは，きれいにふき取ってください。爆発・火災のおそれがあります。

1. 主クラッチレバーは**【切】**の位置にして保管します。
2. 燃料タンク・キャブレタ・フィルタポットの中のガソリンは全て抜取ります。（１ヵ月以上使用しないとき）
3. オイルを交換し，各部をきれいに掃除します。
4. エアクリーナエレメントを，掃除します。
5. エンジンのシリンダ内に湿気が入って，始動が困難になるのを防止するため，リコイルスタータハンドルをゆっくり引いて，圧縮位置（重く手ごたえのある場所）で止めます。
6. カバーをかけ，湿気や草・ワラ及びホコリのない場所に置きます。
7. さびを防ぐため，爪軸を外し，耕うん軸と爪軸の内側を清掃し，油又はグリスを塗布してください。

重　要

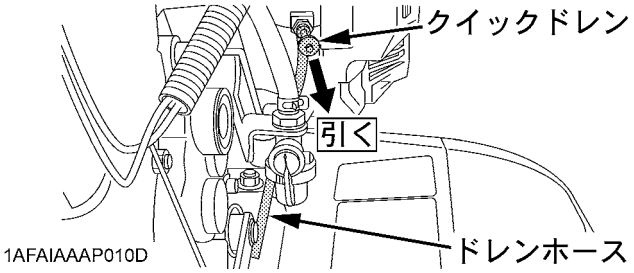
＊ ほ場に保管していると，地面からの湿気が多いのでさびやすくなります。

■燃料の抜取り

警　告

＊ 燃料を抜取るときはエンジンを停止し，エンジンやマフラがじゅうぶん冷えてから行なってください。
＊ 火気厳禁。くわえ煙草での給油は絶対にしないでください。
＊ 燃料がこぼれたときはきれいにふき取ってください。

１ヶ月以上使用しないとき，燃料タンク内のガソリンはポンプなどを使用して抜取り，キャブレタ内はクイックドレンを引いてドレンホースから抜取り，フィルタポットを外しフィルタ内の燃料を全部抜取ります。



重　要

＊ 燃料をそのままにしておくと，燃料タンクやキャブレタ内のガソリンが劣化して，次の始動が困難になります。

洗車時の注意

高圧洗車機の使用方法を誤まると人を怪我させたり，機械を破損・損傷・故障させることがありますので，高圧洗車機の取扱説明書・ラベルに従って，正しく使用してください。

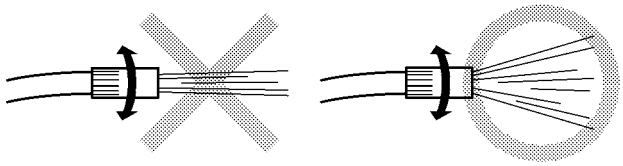
注　意

洗浄ノズルを拡散にし，２ｍ以上離して洗車してください。
もし，直射にしたり，不適切に近距離から洗車すると，
1. 電気配線部被覆の損傷・断線により，火災のおそれがあります。

重　要

＊ 洗車のしかたが不適切な場合，以下のような機械の破損・損傷・故障の原因になります。
［例］(1) シール・ラベルの剥がれ
(2) 電子部品，エンジン・トランスミッション室内などへの浸入による故障
(3) オイルシールなどのゴム類，樹脂類の破損
(4) 塗装，メッキ面の皮膜剥がれ

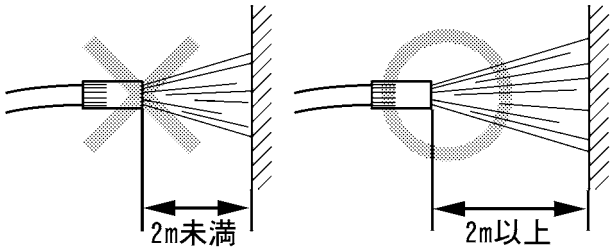
直射洗車厳禁



直射　　拡散

1AGACBRAP067A

近距離洗車厳禁



1AGACBRAP068A

管理機を運搬するとき

注　意

積込み・積降ろしは，平たんで交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。

［アユミ板を使用する場合］

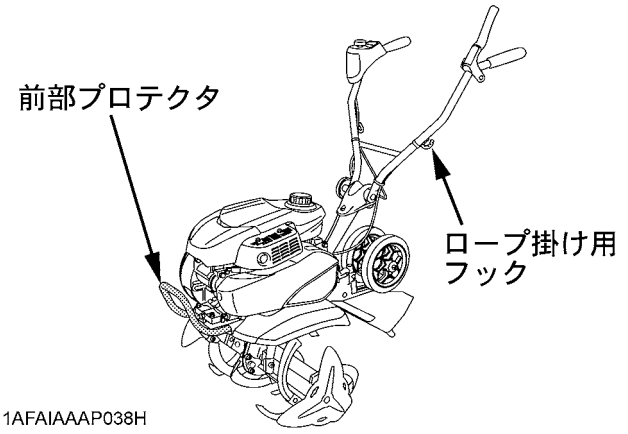
- **＊ アユミ板はすべり止めのついた，機体重量に耐えるもので，トラックの荷台の高さ［1］に対しアユミ板の長さ［4以上］のものを使用し，確実に固定してください。**
- **＊ 積込み・積降ろし作業中は，機械の前には絶対に立たないでください。**
- **＊ ロータを装着しているときは，移動輪，または突起の小さい車輪と交換して行なってください。ロータのみでの，アユミ板の上り・下りは危険です。絶対にしないでください。**
- **＊ 上り，下りはエンジンを停止して，主クラッチレバー及び操向クラッチレバー［S 仕様］から手を離して行なってください。**
- **＊ 車などで運搬するときは，荷台に天井がある車を使用すると天井に首や体をはさまれるおそれがありますので，必ず荷台に天井がない車を使用してください。**

［手で持ち上げる場合］

- **＊ 積込み・積降ろしは２人以上で行なってください。**
- **＊ 機械を持ち上げるときは、ハンドルの固定ノブが確実に締まっていることを確認し、ハンドル部が折り畳んでいる場合は、ハンドルパイプを持って上げてください。**

トラックへの積込み，運搬

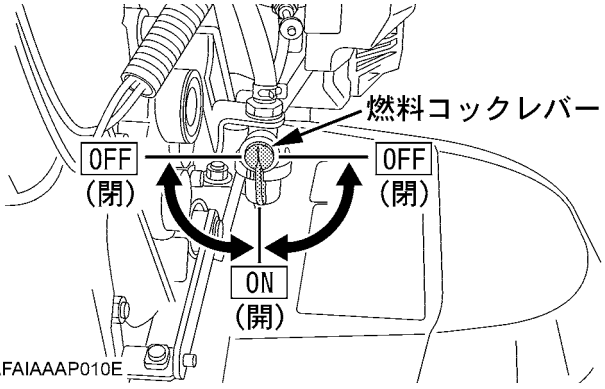
1. トラックを平たんな場所に止め，駐車ブレーキを掛けます。
2. あゆみ板を荷台に確実に固定します。
3. ロータを装着しているときは，移動輪，または突起の小さい車輪と交換して行なってください。
4. 上り，下りはエンジンを停止して，主クラッチレバー及び操向クラッチレバー**［S 仕様］**から手を離して行なってください。
5. 機体は荷台にロープで確実に固定します。
6. 機体にロープを掛けるときは，前部プロテクタ・ロープ掛け用フックの２箇所を固定してください。
7. 燃料コックレバーは**［OFF］（閉）**にします。
8. 雨天時には，エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせてください。



1AFAIAAAP038H

重　要

- ＊ ロープを掛けるとき，樹脂レバーや樹脂カバー，小物部品にロープが触れないように気をつけてください。
  破損したり機能が損なわれるおそれがあります。
- ＊ エアクリーナの吸込口にカバーをかぶせないで運搬すると，雨水や砂ホコリが入り，エアクリーナ性能が低下します。
- ＊ 燃料コックレバーを**［ON］（開）**のまま運搬すると，キャブレタ内でガソリンがオーバフローし，エンジン始動が困難となります。また，クランクケース内にガソリンが流入することもあります。



1AFAIAAAP010E

乗用車への積込み，運搬

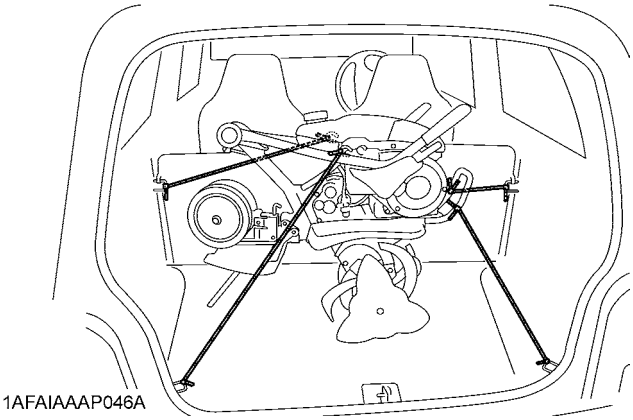
注　意

＊ 積込み・積降ろしは，平たんで交通の邪魔にならない安全な場所で行なってください。
＊ 自動車は駐車ブレーキをかけ，エンジンを停止し、変速を後進（バック）：MT 車，P（パーキング）：AT 車に入れ，タイヤに歯止をしてください。
＊ 積込み前には必ずハンドルを折り畳んでください。
＊ 積込み・積降ろしは２人以上で行なってください。
＊ 乗用車等の密閉空間になる状態で機械を運搬する場合は，燃料タンク内の燃料を完全に抜き取ってから積込んでください。
燃料は，別に用意しておいた法で定められたタンクに移して運搬してください。火災のおそれがあります。
＊ 機械は自動車の床に安定した状態で積み，ロープで前部プロテクタ・ロープ掛け用フックを固定してください。

重　要

＊ ロープを掛けるとき，樹脂レバーや樹脂カバー，小物部品にロープが触れないように気をつけてください。
破損したり機能が損なわれるおそれがあります。
＊ 燃料コックレバーを**［ON］（開）**のまま運搬すると，キャブレタ内でガソリンがオーバフローし，エンジン始動が困難となります。また，クランクケース内にガソリンが流入することもあります。

1. エンジンを停止します。
2. 燃料タンク内の燃料を完全に抜き取ります。〔**［燃料の抜取り］** 23 ページ参照〕
3. 燃料コックを**［OFF］（閉）**にします。
4. ハンドルを折り畳みます。〔**［ハンドルの折り畳みかた］** 26 ページ参照〕
5. 前部のプロテクタと後部のハンドルフレームを持ち，自動車に積込みます。
6. 機械は自動車の床に安定した状態で積み，ロープで前部プロテクタ・ロープ掛け用フックを固定します。



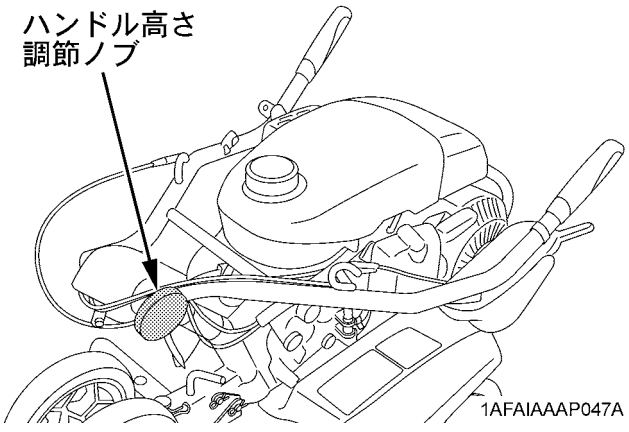
ハンドルの折り畳みかた

乗用車等への積込み時，本機を格納する時等に，ハンドルを折り畳むことができます。

重　要

＊ ハンドルを折り畳む時は，ケーブル等が他の部品に引っかからないか注意しながら，ゆっくりと操作してください。破損したり機能が損なわれるおそれがあります。
＊ ハンドルを折り畳む時は，フェンダに部品が干渉しない位置で止めてください。破損したり機能が損なわれるおそれがあります。

1. ハンドル高さ調節ノブをゆるめて折り畳みます。
2. ハンドル高さ調節ノブは，確実に締付けます。



付表

主要諸元

販売型式名		クボタ TMS30
機体寸法	全長(mm)	1200
	全幅(mm)	650（ロータ外幅）
	全高(mm)	1080
質量(kg)		42（M5TUE3 仕様） 43.5（SM5TUE3 仕様）
エンジン	型式名	FJ100D
	種類	空冷 4 サイクル傾斜型　OHV　ガソリンエンジン
	総排気量 L(cc)	0.098（98）
	連続定格出力 kW/rpm(PS/rpm)	1.4/3200（1.9/3200）
	最大出力 kW(PS)	2.0（2.7）
	使用燃料	自動車用レギュラーガソリン（無鉛）
	燃料タンク容量(L)	0.8
	始動方式	リコイルスタータ
主クラッチ方式		ベルトテンション
操向クラッチレバー方式[S 仕様]		ボール式
変速段数		前進　1段
車軸回転速度(rpm)		110
ハンドル上下調節		菊座式
ハンドル左右回動		左右各　1段
標準ロータ耕うん幅(mm)		650

※この主要諸元は，改良のため予告なく変更することがあります。

標準付属部品

品名	数量 / 台	備考
レンチ（プラグボックス）	1	
車軸ピン	2	
スナップピン	2	
取扱説明書	1	
ガソリンメンテナンス要領書	1	
組立要領書	1	
保証書	1	

付表

主な消耗部品一覧表

● 本機関係

品　名	品　番	適用機種	数　量	備　考
V ベルト（A30）	KA041-62210	全機種	1	
ケーブル，コンプ（シュクラッチ）	KA041-42010	全機種	1	
ケーブル，コンプ（スロットル）	KA041-43120	全機種	1	
コード（ストップスイッチ）	KA041-55510	全機種	1	
ケーブル，コンプ（サイドクラッチ）	KA042-43320	S 仕様のみ	2	
オイルシール	09500-15307	全機種	2	
ツメ，アッシ（ラクラクロータ NS29）	91154-0313-0	M5，M6 仕様	1	
ラクラクロータツメ（NS29 ヒダリ）	91154-0314-0	M5，M6 仕様	6	
ラクラクロータツメ（NS29 ミギ）	91154-0315-0	M5，M6 仕様	6	
ツメ，アッシ（A720 ミラクルロータ）	91154-0610-0	N 仕様	1	
ミラクルヅメ（S30 ヘンシンヅメ R）	91154-0613-0	N 仕様	5	
ミラクルヅメ（S30 ヘンシンヅメ L）	91154-0614-0	N 仕様	5	
ミラクルヅメ（S30 チョクヅメ）	91154-0615-0	N 仕様	2	
シャジクピン	61141-1713-0	ATT 用	4	爪軸取付
ピン（スターロータ 8 × 88）	91154-0215-0	M5，M6 仕様	2	爪軸取付
ピン	91154-0617-0	N 仕様	2	爪軸取付
スナップピン	05515-50800	M5，M6 仕様	2	爪軸取付
スナップピン（マル 9 ケーブルツキ）	91154-0319-0	M5，M6 仕様	M5 は 2， M6 は 4	プレート，ドラム（子）取付
R ピン	91154-0618-0	N 仕様	2	爪軸取付
ボルト（M8 × 18 B13）	91232-0121-0	M5，M6 仕様	12	爪取付
ボルト	91154-0616-0	N 仕様	12	爪取付
バネザガネ	04512-50080	M5，M6 仕様	12	爪取付
ナット（P1.25 B14）	91154-0318-0	M5，M6 仕様	12	爪取付

● エンジン関係

品　名	品　番	適用機種	数　量	備　考
スパークプラグ	E1189-16140	全機種共通	1	
スポンジエレメント	E1189-22140		1	
濾紙エレメント	E1189-22130		1	
燃料パイプ	KA041-54731		1	タンクからフィルタポット
燃料パイプ	LE020-01211		1	フィルタポットからキャブ

トラブルと処置

■ エンジンが始動しないとき

原　因	処　置
● 始動の手順が間違っている。	正しい順序で始動する。 〔6 ページの**【運転のしかた】**を参照〕
● タンクにガソリンを入れたまま 1 ヵ月以上保管しガソリンが劣化した。	タンク・キャブレタ内の劣化したガソリンを排出し，新しいガソリンを入れる。
● フィルタポットに水やゴミが混入している。	ポットを外してフィルタエレメントを清掃する。 また新しい物と交換する。 キャブレタ内のガソリンも排出する。
● チョークを引いた（始動位置）状態でリコイルを何回も引過ぎガソリンを吸いすぎた。	チョークを戻し（運転位置）リコイルを引くか，点火プラグを外して乾燥させる。
● エンジン停止後，燃料コックを閉じないで本機を前に倒したり，車両で運搬したためキャブレターがオーバーフローした。	クランクケース内にガソリンが混入していたら新しいエンジンオイルと交換する。
● エアクリーナエレメントが目詰まりしている。	エレメントを外して清掃する。 または新しい物と交換する。
● 点火プラグの火花が弱い，飛ばない。	点火プラグを外して付着したカーボンを清掃する。または，新しい物と交換する。

■ エンジン回転が上がらない，不安定，出力が不足するとき

原　因	処　置
● エンジンが暖まってもチョークを引いた（始動位置）まま運転している。	チョークを戻す（運転位置）。
● フィルタポットに水やゴミが混入している。	ポットを外して清掃する。 キャブレタ内のガソリンも排出する。
● エアクリーナエレメントが汚れている。	エレメントを外して清掃する。

■ ハンドルのガタが多い

原　因	処　置
● ハンドル上下のガタが多い。	ハンドル高さ調節ノブを締め直す。

上記の処置をしてもトラブルが直らないときは，購入先にご相談ください。

修理・取扱い・手入れなどでご不明の点は まず，購入先へ ご相談ください

おぼえのため，該当する項目に記入されると便利です

<table>
<tr><td colspan="2">購入先名

担当

電話番号（　　）　　－</td><td>型式名

区分

車台番号（製造番号）

エンジン型式

エンジン番号</td></tr>
<tr><td>ご購入日</td><td>キーナンバー</td><td rowspan="2">その他装着型式

機械番号</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td></tr>
</table>

※ご記入の際には、サービスと保証のページをご参照ください。
なお、型式により該当しない記入項目もあります。

ご購入先でご不明の点がございましたら，下記にお問合わせください。

クボタアグリサービス株式会社

秋田事務所：電(018)845-1601　〒011-0901　秋田市寺内字大小路207-54
仙台事務所：電(022)384-5162　〒981-1221　宮城県名取市田高字原182-1
東京事務所：電(048)862-1124　〒338-0832　さいたま市桜区西堀5-2-36
新潟事務所：電(025)285-1261　〒950-0992　新潟市中央区上所上1-14-15
金沢事務所：電(076)275-1121　〒924-0038　石川県白山市下柏野町956-1
名古屋事務所：電(0586)24-5111　〒491-0031　愛知県一宮市観音町1-1
大阪事務所：電(06)6470-5850　〒661-8567　兵庫県尼崎市浜1-1-1
岡山事務所：電(086)279-4511　〒703-8216　岡山市東区宍甘275
米子事務所：電(0859)39-3181　〒689-3547　鳥取県米子市流通町430-12
福岡事務所：電(092)606-3161　〒811-0213　福岡市東区和白丘1-7-3
熊本事務所：電(096)357-6181　〒861-4147　熊本市南区富合町廻江846-1
株式会社北海道クボタ本社：電(011)661-2491　〒063-0061　北海道札幌市西区西町北16-1-1
株式会社四国クボタ本社：電(087)874-8500　〒769-0102　香川県高松市国分寺町国分字向647-3

株式会社クボタ

国内農機カスタマーセンター：電(072)241-1375　〒590-0823　大阪府堺市堺区石津北町64

TMS30
AT．F．3-3．85．AK

Kubota

安全宣言

安全はクボタの願い

このマークは「お客様」「ディーラ」「クボタ」の三者が一体となって安全宣言を行うための統一マークです。

LEMA
陸内協排出ガス自主規制適合

このラベルは「(社)日本陸用内燃機関協会排出ガス自主規制適合エンジン」であることを示しています。

株式会社クボタ
〒556-8601
大阪市浪速区敷津東1丁目2番47号

品番　KA041-6511-1